

令和7年版

消防年報



新見市消防本部
(令和8年刊行)

総説

総 説

1 市 勢

新見市は、岡山県の北西に位置し、西は広島県庄原市、北は鳥取県日野郡と県境を接する人口24,866人、面積793.29km²の中山間都市です。市域のほぼ中央に位置する市街地は企業や官公庁、商業施設が集中する市の中核で、中国縦貫自動車道や国道・県道及びJR在来線が東西・南北を貫く交通の要衝となっています。周辺地域は、広大な市の面積のほとんどを占める山林や農地で形成され、農産物等の生産や埋蔵量豊富な石灰岩の産出により、市の主な産業である農林業、畜産業、鉱業を支えており、それぞれが経済的・社会的にその機能と役割を果たしてきています。

また、公立の『新見女子短期大学』として開学し、現在男女共学の4年制大学に改組された『新見公立大学』は、保育・看護・福祉の専門人材を養成する機関として発展が期待されます。市では大学を応援する機運を醸成するとともに、大学が設置されている利点を活かし、大学と連携して市の活性化や課題解決に向けた「大学を活かしたまちづくり」を行っています。

このようなことから、将来の都市像を「人と地域が輝き 未来につながる 源流共生のまち・にいみ」として、地域資源の活用、多様な主体との連携と協働、地域共生社会の構築による「個性と魅力あるまちの創造」「持続可能なまちの創造」に取り組んでいます。

当消防本部は、新見市消防本部として昭和43年4月に発足し、昭和47年に隣接する1市4町で消防の広域化が図られ新見地区消防本部となり、さらに、平成17年3月31日にこの構成市町の自治体が合併し、新見市消防本部と改名されて現在に至っており、1本部1署4分署、職員85人の体制で消防団員852人とともに市民の安心・安全のために災害対応・防災に従事しております。

2 新見市消防本部の沿革

昭和	43.	4	政令指定により、新見市に消防本部・消防署が設置され、消防長以下22名水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台で発足した。
	43.	12	消防庁舎完成、鉄筋コンクリート造り3階建、517.85㎡
	44.	3	日本損害保険協会寄贈による消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザーA1）が納入された。
	44.	4	連絡広報車（ニッサンセドリック）購入
	44.	12	職員1名死亡退職、職員数21名となる。
	45.	3	救急自動車（トヨタクラウン・2B）1台購入
	45.	4	救急業務開始、職員6名を採用、職員数27名となる。
	47.	4	新見市周辺の阿哲郡4町（大佐町、神郷町、哲多町、哲西町）が常備消防設置の政令指定を受け、同時に、県知事から阿新広域事務組合規約の変更が許可され、組合の事務に消防業務が加えられた。
	47.	5	組織の変更により、従来の新見市消防本部・署の職員23名、消防ポンプ2台、無線施設等組合へ移行、新見市からの派遣職員4名と併せて職員27名で組合消防発足、当面周辺4町は予防業務のみ実施する。
	47.	6	派遣職員（新見市）1名増員、実員28名となる。 広報車（いすゞライトバン1,600cc）購入
	47.	7	5日間にわたる豪雨で管内各地に河川氾濫、土砂崩れ等の被害が続出、連日連夜、職員の水防活動が行われた。昭和47年7月豪雨と名付けられた。
	47.	8	分駐所配置の小型動力ポンプ（トーハツV15AC1級）4台購入
	47.	12	分駐所配置の消防ポンプ自動車（ニッサンFH60 3,950cc 日機R3F）4台購入
	48.	4	職員30名採用、実員58名となる。（定員58名） 政令発効により、管内全域の消防業務を開始 刑部分駐所（大佐町）、新郷分駐所（神郷町）、萬歳分駐所（哲多町）、矢神分駐所（哲西町）の4分駐所を仮庁舎で開設、職員各7名を配す。
	48.	6	分駐所庁舎完成、鉄骨ブロック平屋建て146㎡ 4か所
	48.	10	職員1名退職、実員57名となる。
	48.	11	管内全域をエリアとする無線施設完成、運用に入る。（NEC） 周波数152.09MHz、150.33MHz 固定局 7局（基地局 5局）、移動局 22局
	48.	12	日本船舶振興会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。新見消防署に配置した。

49.	3	定数条例を改正、消防職員の定数を「64名」とした。
49.	4	職員3名採用、実員60名となる。
49.	6	職員3名採用、実員63名となる。
49.	9	日本船舶振興会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入され、刑部分駐所に配置した。職員1名退職、実員62名となる。
50.	1	無線機（NEC）2台増設、救急自動車に搭載する。移動局24局となる。
50.	3	日本損害保険協会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。新郷分駐所に配置した。
50.	4	無線機（NEC）1台増設、救急自動車に搭載する。移動局25局となる。
51.	3	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。 萬歳分駐所に配置した。
51.	4	職員2名採用、実員64名となる。 日本損害保険協会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。矢神分駐所に配置した。
51.	5	無線機（NEC）2台増設、救急自動車に搭載する。移動局27局となる。
51.	6	派遣職員1名減員、実員63名となる。
51.	12	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、日野KL501 6,210cc 日機R3）購入 新見消防署に配置し、老朽したタンク車を除却処分した。 無線機（NEC）1台増設、化学消防ポンプ自動車に搭載する。移動局28局となる。
52.	12	指揮連絡車（スズキジムニー55バン）2台購入、新郷、矢神分駐所に配置した。
53.	3	仮眠室増築工事完成
53.	7	専任消防長任命（新見市助役の事務取扱を廃止、消防署長が昇格）
53.	10	中国自動車道北房～東城間救急業務の引受け、併せて真庭消防本部、三次地区消防本部との間に消防相互応援協定を締結した。 定数条例を改正、消防職員の定数を「69名」とした。
53.	11	指揮連絡車（スズキジムニー55バン）2台購入、刑部、萬歳分駐所に配置した。
53.	12	救急指令装置（NEC B型）を配置、緊急電話12回線、一般加入電話4回線等と消防無線を収容
54.	1	救急自動車（ニッサンキャラバン2,000cc 2B）購入、中国自動車道救急業務に備えて新見消防署に配置した。

54.	3	指令査察車（ニッサンセドリックバン2,000cc）購入、新見消防署に配置し、老朽した広報車を処分した。 無線機（NEC）5台増設、救急自動車、指令査察車及び指揮連絡車3台に搭載、移動局33局となる。職員1名死亡退職、実員62名となる。
54.	4	職員5名採用、実員67名となる。
54.	5	職員1名補充採用、実員68名となる。
54.	7	職員1名病気退職、実員67名となる。
55.	4	職員2名採用、実員69名となる。
55.	7	全職員を消防庁告示による救急隊員の有資格者とするため、消防大学救急科
~56.	3	へ職員2名を派遣、部内講師として、署所ごとに72時間の補充講習を実施した。
56.	4	管理者制から理事会制に改正 消防本部に6係を設ける等機構の改善、整備を行った。
57.	2	岡山県共済農業共同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。新見消防署に配置した。
57.	4	消防庁舎（本部・署）用地・建物取得、敷地 2,082㎡ 建物 鉄筋コンクリート造り2階建延べ385.20㎡
57.	6	消防庁舎（本部・署）新築・改造工事着工
57.	9	日本損害保険協会寄贈による消防ポンプ自動車（ニッサンJ-FG160 3.6KWA1級）火災保険号「阿新」が納入される。新見消防署に配置した。 消防庁舎（本部・署）新築・改造工事竣工 消防署新築、鉄骨造り平屋建て420.07㎡ 既存棟改造
57.	10	新消防庁舎へ移転、業務を開始（所在地 新見市新見312番地の2）
58.	6	事務機構の一部改正により、消防本部に庶務課と警防課の2課（6係）を設けた。
58.	11	日本防火協会寄贈による防火広報車（ニッサンキャラバン）1台納入される。
59.	3	消防訓練塔完成
60.	7	災害の多様化、広域化に備え隣接消防本部（鳥取県西部広域行政管理組合、真庭消防組合及び高梁市）との消防、救急に関する相互応援協定を締結した。
60.	11	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、新見消防署に配置老朽車両1台を廃車した。
61.	2	日本損害保険協会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。

		刑部分駐所に配置、老朽車両を更新した。
61.	3	新見消防署にシャワー室併設の車庫79.18㎡を新築した。 職員1名退職、実員68名となる。
61.	9	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、新郷分駐所の車両を更新した。
61.	10	職員1名採用、実員69名となる。
61.	12	消防本部通信指令室に無線第二基地局（全国、県内共通波）を設置した。
62.	1	新見市から、小型動力ポンプ積載車（ニッサン44年式）の移管を受ける。
62.	4	新見市からの派遣職員1名減員、実員68名となる。
62.	7	中国自動車道下り線213KP、新見市上熊谷地区で大型タンクローリーが横転し、積荷の毒物（フッ化水素酸）が流出、付近の住民避難や農作物、花木の枯渇、河川汚染等多大の被害があり、その防除活動に従事した。
62.	9	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、矢神分駐所の車両を更新した。
62.	11	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。萬歳分駐所の車両を更新した。
62.	12	中国自動車道における、消防、救急に関する相互応援について岡山県内の関係4本部（英田、津山、真庭、新見）で協定を締結した。
63.	3	職員1名退職、実員67名となる。
63.	4	職員1名採用、実員68名となる。 新見大火50年、自治体消防発足40周年を記念して、新見市消防大会が開催され、記念式典及び消防演習に消防本部も参加した。
63.	6	第1回岡山県消防救助技術訓練大会が岡山市で開催され、ほふく救出の部とはしご登はんの部に出場、それぞれ優勝、入賞の好成績を収めた。
63.	12	救助工作車（Ⅱ型）1台、無線電話機1台及び救助用資機材を購入、新見消防署の救助体制を強化した。 消防ポンプ自動車（BD-1）1台を購入、刑部分駐所の車両を更新した。
64.	1	天皇陛下崩御、元号が「平成」に改められた。（1月8日） 平成元. 1 自治省消防庁「救急基金」の寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、新郷分駐所の車両を更新した。
平成元.	3	職員1名退職、実員67名となる。
元.	4	職員1名採用、実員68名となる。
元.	7	消防指令車（スバルレガシーワゴン1,800cc）購入、新見消防署の車両を更新した。

元. 10	新見信用金庫から同金庫創立40周年記念事業の一環として、救急自動車（ニッサンキャラバン2B、4WD無線電話付）1台が寄贈、納入され新見消防署へ配置した。
元. 11	消防ポンプ自動車（BD-1）1台を購入、萬歳分駐所の車両を更新した。
元. 12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B、4WD）1台が岡山県から配分され、矢神分駐所の車両を更新した。
2. 3	大規模、広域化する災害に対応するため、岡山県全域にわたる消防相互応援協定が締結された。（4月1日運用開始）
2. 10	職員1名病気退職、実員67名となる。
3. 1	日本損害保険協会寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B）1台が納入され、新見消防署の車両を更新した。
3. 4	職員1名採用、実員68名となる。
3. 8	日本船舶振興会（日本消防協会）寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B）1台が納入され、新見消防署の車両を更新した。
3. 9	定数条例を改正、消防職員の定数を「70名」とした。
4. 1	職員1名死亡退職、実員67名となる。
4. 3	定数条例を改正、消防職員の定数を「72名」とした。 消防無線施設（固定局、基地局、空中線）を更新、一部伝播状況を改善するため神郷町釜村に中継局を設置した。
4. 4	職員2名採用、実員69名となる。
4. 9	日本損害保険協会寄贈の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンU-CM87EE、日本ドライケミカルA-1級）1台が納入され、新見消防署へ配置した。
4. 12	消防連絡車（三菱V-U42V）2台を購入、新郷、矢神分駐所の車両を更新した。
5. 3	定数条例を改正、消防職員の定数を「82名」とした。
5. 4	職員3名採用、実員72名となる。
5. 6	各分駐所に電話転送装置を設置、消防本部でも対応可能となった。
5. 8	消防連絡車（三菱V-U42V）2台を購入、刑部、萬歳両分駐所の車両を更新した。
5. 9	新見ロータリークラブ創立20周年記念事業として、軽四輪ライトバン（スズキV-DF51V）1台の寄贈を受け、新見消防署に配置した。
5. 11	消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
6. 1	消防通信指令施設の更新を行い同時に気象観測装置と災害情報自動案内装置を新規導入して運用を開始した。

6.	3	岡山県事業による防災行政通信ネットワークの衛星系工事が完成、一部消防本部、市町村等と衛星を使った各種通信が可能となった。
6.	4	職員7名を採用し、派遣職員1名を減員、実員78名となる。 事務機構の一部改正により消防本部が総務課、予防課、警防課の3課となり、消防署に新たに救急救助係を設けた。 分駐所の名称を大佐分署、神郷分署、哲多分署、哲西分署に改めた。
7.	4	職員5名採用、実員83名となる。
7.	5	職員1名退職、実員82名となる。
7.	12	岡山県共済農業共同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、大佐分署の車両を更新した。
8.	4	派遣職員1名増員、実員83名となる。
8.	5	職員1名退職、実員82名となる。
8.	6	備北地区消防行政組合と中国自動車道における消防相互応援協定を締結した。
8.	9	職員1名退職、実員81名となる。
8.	12	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、日野GDIJGB7, 960cc日機R3）を購入、新見消防署の車両を更新した。
9.	3	職員1名死亡退職、実員80名となる。 大佐分署新築（敷地1, 280. 69㎡、建物面積270. 06㎡）
9.	4	新見市消防団に関する事務を新見市へ移管、実員79名となる。 職員1名採用、実員80名となる。 消防職員と新見市職員の相互交流に関する協定書を締結した。
9.	9	職員1名採用、実員81名となる。
9.	12	消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、神郷分署の車両を更新した。
10.	5	職員1名退職、実員80名となる。
10.	9	職員1名採用、実員81名となる。
10.	11	移動体の119番通報の受信を開始する。
10.	12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、哲多分署の車両を更新した。
11.	3	通信指令室（27. 565㎡）を増築 消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
11.	8	救急自動車（ニッサン2B）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
12.	9	救急自動車（ニッサン2B）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。既存車（H11. 8購入分）を神郷分署に移管した。

12.	12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、哲西分署の車両を更新した。
13.	7	高規格救急自動車（ニッサンGE-FLW50）1台を購入、新見消防署へ配置した。新見消防署に配置していた救急車（ニッサン2B）を廃車した。
13.	9	高規格運用に伴う医師の指示に関する協定書及び大規模救急事故等救急業務実施要綱に関する協定書並びにタクシー協会備北支部との覚書を締結した。
14.	3	職員2名退職、実員79名となる。 神郷分署新築（敷地1,274.31㎡、建物面積267.52㎡）
14.	4	職員2名を採用、実員81名となる。
14.	7	消防指令車（ニッサンエクストレイル）購入、新見消防署の車両を更新した。
15.	2	哲西分署新築（敷地1,281.29㎡、建物面積268.25㎡）
16.	3	哲多分署新築（敷地816.95㎡、建物面積268.00㎡） 職員3名退職、実員78名となる。
16.	4	職員2名採用、実員80名となる。
17.	3	新見市と阿哲郡4町（大佐町、神郷町、哲多町、哲西町）が行政合併し、「新見市」となる。阿新広域事務組合は解散し、新見地区消防本部は名称を「新見市消防本部」とし、新見消防署は「新見市消防署」とする。
17.	4	消防本部に「消防団係」を設ける。 定数条例を改正、消防職員の定数を「81名」とした。 新見市から1名出向、実員81名となる。
17.	7	職員1名死亡退職、実員80名となる。
18.	3	職員3名退職、実員77名となる。
18.	4	職員2名採用、実員79名となる。 職員1名退職、実員78名となる。
18.	9	職員2名採用、実員80名となる。
18.	11	高規格救急自動車（ニッサンTC-FPWGE50）購入、新見市消防署の車両を更新した。
19.	3	職員1名退職、実員79名となる。
19.	4	定数条例を改正、消防職員の定数を「85名」とした。 新見市から1名出向、新見市に2名帰任、実員78名となる。
19.	7	職員1名採用、実員79名となる。
20.	2	消防ポンプ車（CD-1）1台を購入、新見市消防署の車両更新。 日本消防協会寄贈による消防団活動車（ダイハツ軽四）1台が納入された。

20.	3	職員 4 名退職、実員 75 名となる。
20.	4	職員 5 名採用、実員 80 名となる。
20.	5	職員 1 名死亡退職、実員 79 名となる。
21.	3	職員 5 名退職、実員 74 名となる。
21.	4	職員 8 名（うち 1 名女性）採用、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 81 名となる。
21.	8	日本宝くじ協会寄贈による消火・通報訓練指導車（マツダ タイタン）が 1 台納入された。
21.	11	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。
22.	1	消防ポンプ自動車（CD-1）購入。哲多分署の車両を更新した。
22.	3	高機能消防指令センター（消防緊急通信指令台）を導入
22.	3	職員 8 名退職、実員 73 名となる。
22.	4	職員 5 名（うち 1 名女性）採用、新見市から 1 名出向、実員 79 名となる。
22.	4	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両（いすゞ レッドシーガル）を 1 台借り受けた。
22.	6	救助工作車（Ⅱ型）を購入、新見市消防署の車両を更新した。
22.	7	職員 1 名退職、実員 78 名となる。
22.	8	全国共済農業協同組合連合会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、新見市消防署の車両を更新した。
23.	3	職員 4 名退職、実員 74 名となる。
23.	4	職員 6 名（うち 1 名女性）採用、新見市へ 1 名出向、新見市から 1 名出向、実員 80 名となる。
23.	12	日本損害保険協会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、新見市消防署の車両を更新した。
23.	12	女性職員、仮眠室増築工事完成
23.	12	職員 1 名退職、実員 79 名となる。
24.	1	女性職員、隔日勤務開始
24.	3	職員 3 名退職、実員 76 名となる。
24.	4	職員 4 名採用、新見市から 1 名帰任、実員 81 名となる。
24.	12	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を購入、新見市消防署の車両を更新した。
25.	2	消防救急デジタル無線実施設計完了
25.	3	非常用発電機を新見市消防本部・新見市消防署の庁舎屋上に設置した。
25.	3	職員 1 名退職、実員 80 名となる。

25.	4	職員 2 名採用、新見市へ 1 名帰任、岡山県消防防災航空センターから 1 名帰任、実員 82 名となる。
25.	6	消防救急無線デジタル化整備工事契約
25.	10	消防救急無線デジタル化整備工事着手
26.	3	職員 7 名退職、実員 75 名となる。
26.	4	職員 7 名採用、新見市へ 1 名出向、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
26.	11	消防救急デジタル無線運用開始
26.	12	日本損害保険協会寄贈による小型動力ポンプ付軽消防自動車が納入され、新見市消防団の車両を更新した。
27.	2	総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 1 台を新見市消防団に借り受けた。
27.	3	職員 7 名退職、実員 75 名となる。
27.	4	職員 6 名採用、新見市から 1 名帰任、新見市へ 2 名出向、新見市から 2 名出向、実員 82 名となる。
27.	12	救急自動車（2B 型）購入、神郷分署の車両を更新した。
28.	3	職員 6 名退職、実員 76 名となる。
28.	4	職員 4 名採用、新見市に 1 名帰任、新見市から 2 名出向、実員 81 名となる。
29.	1	職員 1 名退職、実員 80 名となる。
29.	2	職員 1 名退職、実員 79 名となる。
29.	3	職員 5 名退職、実員 74 名となる。
29.	4	職員 6 名採用、新見市から 2 名帰任、新見市に 1 名帰任、新見市から 3 名出向、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 83 名となる。
29.	8	消防連絡車（スズキ エブリイ）を購入、哲西分署の車両を更新した。
29.	12	日本損害保険協会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、哲多分署の車両を更新した。
30.	3	職員 4 名退職、実員 79 名となる。
30.	4	職員 3 名採用、新見市に 1 名帰任、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
31.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。 職員 5 名退職、実員 77 名となる。
31.	4	職員 6 名採用、新見市に 2 名帰任、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
令和元	9	職員 1 名退職、実員 81 名となる。
	2.	3 消防ポンプ自動車（CD-1）購入、大佐分署の車両を更新した。 職員 1 名退職、実員 80 名となる。

2.	4	職員 1 名採用、1 名再任用、新見市に 1 名帰任、新見市から 1 名出向、岡山県消防防災航空センターから 1 名帰任、実員 83 名となる。
2.	5	新見市石蟹の新見市防災公園内に造成中であった、消防水出し操法訓練場が完成した。
2.	8	新見市消防体制基本構想検討委員会を設置し、将来に向けた持続可能な消防体制のあり方について検討を行い、令和 3 年 3 月 5 日に委員長が検討結果を市長へ報告した。
3.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。 職員 2 名退職、実員 81 名となる。
3.	4	職員 1 名採用、2 名再任用（1 名継続）、実員 83 名となる。 高機能消防指令システム運用開始。
3.	6	職員 1 名退職、実員 82 名となる。
4.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）2 台購入、新見市消防署、哲西分署の車両を更新した。 職員 2 名退職、実員 80 名となる。
4.	4	職員 3 名採用、1 名再任用、新見市に 2 名帰任、新見市から 2 名出向、実員 83 名となる。
5.	1	無人航空機（ドローン）の運用を開始。
5.	2	多目的消防ポンプ自動車 1 台購入、新見市消防署の車両を更新した。
5.	3	職員 3 名退職、実員 80 名となる。
5.	4	職員 2 名採用、新見市から 1 名出向、実員 83 名となる。 新消防庁舎造成工事着工
5.	10	新消防庁舎建設工事着工
6.	3	日本消防協会寄贈による消防団防災学習・災害活動車（トヨタ ハイエース）が納入された。
6.	4	職員 2 名採用、職員 1 名転属、新見市に 2 名帰任、新見市から 1 名出向、1 名再任用継続、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 84 名となる。
7.	3	資機材搬送車 1 台購入（いすゞ エルフ）、新見市消防署に配置した。 職員 1 名退職、実員 81 名となる。
7.	4	職員 3 名採用、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 84 名となる。
7.	7	職員 1 名退職、実員 83 名となる。

- | | | |
|----|---|---|
| 7. | 8 | 新見市消防本部・新見市消防署新消防庁舎運用開始
(敷地面積 4938.33 m ² 、建物面積 1141.61 m ²) |
| 8. | 3 | 高規格救急自動車(トヨタ ハイエース)1台購入、大佐分署の車両を更新した。
職員2名退職、実員81名となる。 |
| 8. | 4 | 職員4名採用、職員1名転属、新見市に1名帰任、1名再任用継続、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員1名、実員83名となる。
定数条例を改正、消防職員の定数を「90名」とした。 |

3 管内図

(出動体系)

令和8年4月1日現在



4 新見市消防本部の位置と状況

(令和8年4月1日現在)

位 置	東 経	北 緯
	133 度 28 分 25 秒	34 度 58 分 30 秒
面 積	793.29k m ²	
広 範	東 西	南 北
	30.0km	35.0km
人 口	24,866 人	
世 帯 数	12,194 世帯	

5 歴代消防長

歴 代	氏 名	在 任 期 間	備 考
初代	角田 忠夫	S43. 4. 1 ~ S44. 7. 18	新見市助役
2	赤木 孜一	S44. 7. 19 ~ S44. 10. 31	市長 代行
3	森宗 哲男	S44. 11. 1 ~ S52. 9. 30	新見市助役
4	渡邊 滋樹	S52. 10. 1 ~ S53. 6. 30	新見市助役
5	古屋 弘	S53. 7. 1 ~ S56. 5. 31	
6	竹本 博	S56. 6. 1 ~ S57. 5. 31	
7	生田 和男	S57. 6. 1 ~ S59. 3. 31	
8	城谷 廣	S59. 4. 1 ~ S60. 3. 31	
9	山本 靖弘	S60. 4. 1 ~ S62. 3. 31	
10	森下 博	S62. 4. 1 ~ H元. 3. 31	
11	小林 薫	H元. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	
12	池田 稔	H 4. 4. 1 ~ H 6. 3. 31	
13	小寺 令治	H 6. 4. 1 ~ H 8. 3. 31	

14	小林 玄造	H 8. 4. 1 ~ H10. 3. 31	
15	池上 弘幸	H10. 4. 1 ~ H13. 3. 31	
16	赤井 忠義	H13. 4. 1 ~ H14. 3. 31	
17	西村 武夫	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	
18	赤井 潔志	H15. 4. 1 ~ H17. 3. 30	
19	清水 博	H17. 3. 31 ~ H19. 3. 31	
20	高下 瀧昇	H19. 4. 1 ~ H22. 3. 31	
21	大本 正治	H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31	
22	小川 節雄	H23. 4. 1 ~ H25. 3. 31	
23	西村 定	H25. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
24	前原 幸治	H27. 4. 1 ~ H28. 3. 31	
25	吉田 裕明	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	
26	安松 潔	H29. 4. 1 ~ H31. 3. 31	
27	名越 淑郎	H31. 4. 1 ~ R 2. 3. 31	
28	貞岡 富佐雄	R 2. 4. 1 ~ R 3. 3. 31	
29	山本 明	R 3. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	
30	富谷 剛	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	
31	田中 隆博	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	
32	山田 邦広	R 6. 4. 1 ~ R 8. 3. 31	
33	窪木 洋道	R 8. 4. 1 ~	

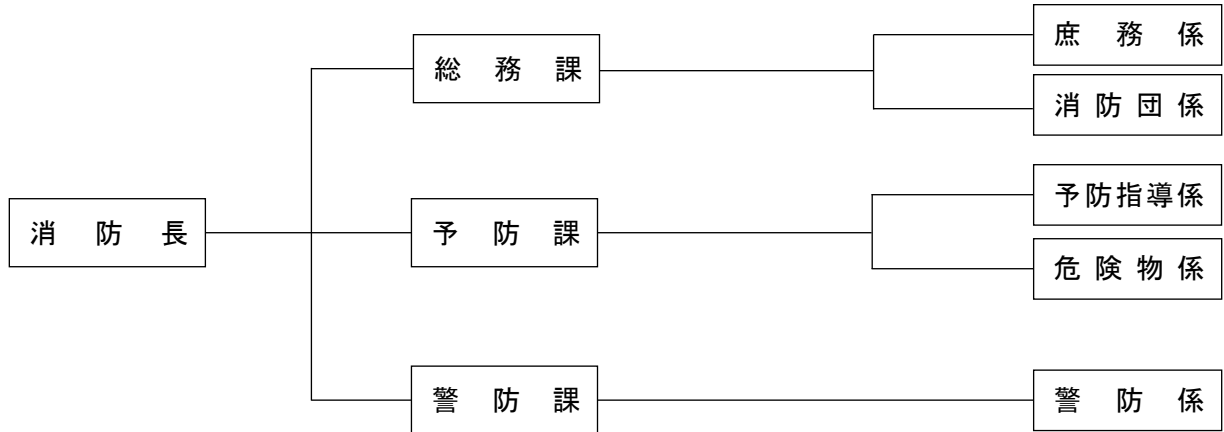
総務

総務

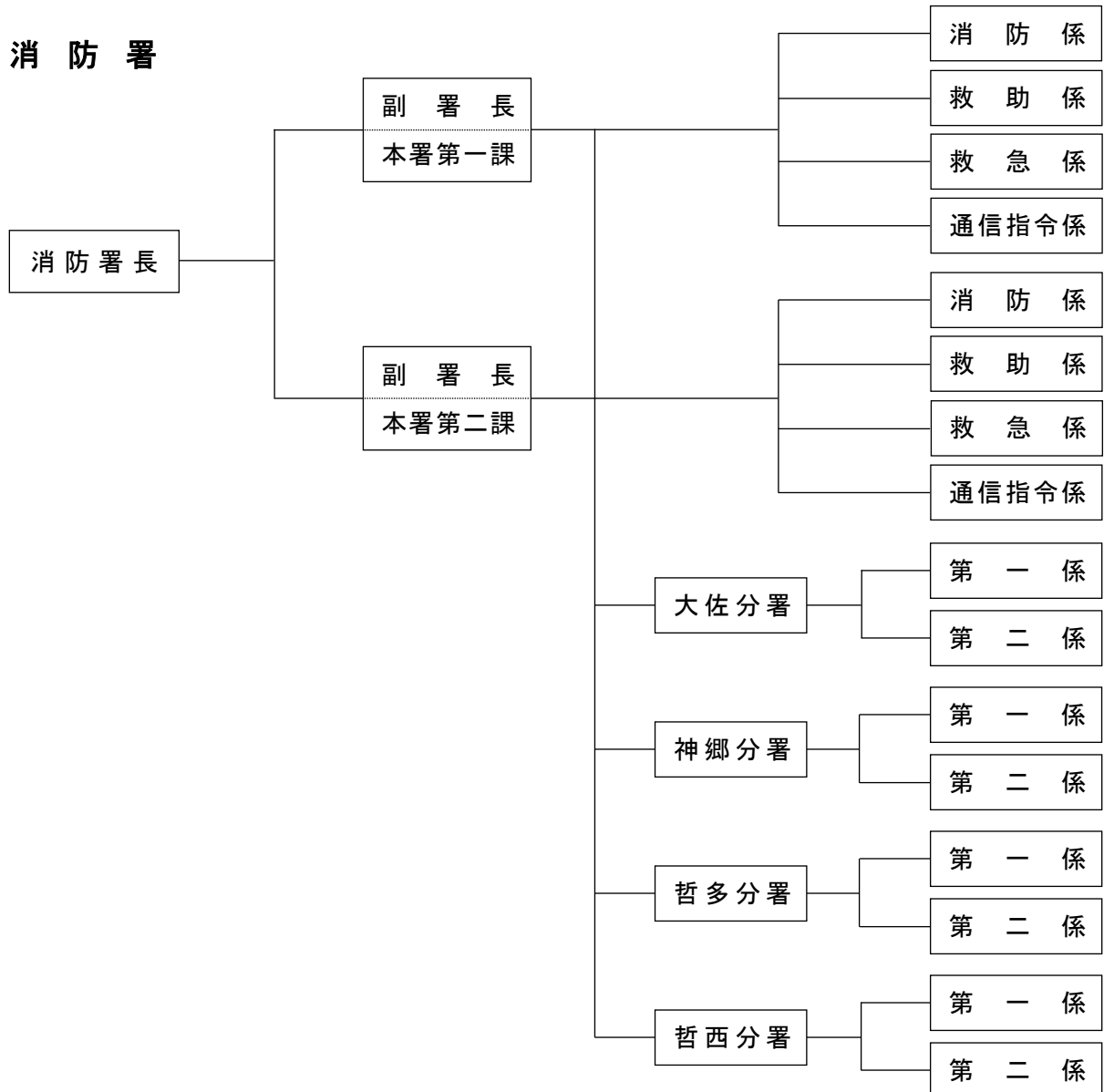
1 新見市消防本部・消防署組織図

(令和8年4月1日現在)

消防本部



消防署



2 消防本部の事務分掌

総務課

○庶務係

- (1) 消防業務の総合的企画に関すること。
- (2) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (3) 公印の管守に関すること。
- (4) 相互応援協定、協約、その他関係機関との連携に関すること。
- (5) 儀式及び表彰に関すること。
- (6) 公文書の收受及び整理保管に関すること。
- (7) 各課、係処理事務の調整に関すること。
- (8) 消防職員委員会に関すること。
- (9) 職員の任免、分限、懲戒及び服務、賞罰その他身分に関すること。
- (10) 職員の給与、勤務時間、その他勤務条件に関すること。
- (11) 職員の勤務成績の評定に関すること。
- (12) 職員の教養及び訓練に関すること。
- (13) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (14) 公務災害補償に関すること。
- (15) 職員の被服貸与に関すること。
- (16) 予算及び決算に関すること。
- (17) 収入及び支出命令に関すること。
- (18) 消防財産の管理及び処分に関すること。
- (19) 他の課、係の分掌に属しない事項に関すること。

○消防団係

- (1) 消防団員の任免、服務、表彰、その他身分に関すること。
- (2) 消防団員の被服の貸与に関すること。
- (3) 消防団員の公務災害補償に関すること。
- (4) 消防団員の研修・訓練に関すること。
- (5) 消防団員の報酬等の支給に関すること。
- (6) 消防団の消防施設に関すること。
- (7) 消防団の機械器具に関すること。
- (8) 消防団の予算決算に関すること。
- (9) その他消防団に関すること。

予防課

○予防指導係

- (1) 火災予防の指導、広報公聴、警戒、防火指導及び予防査察に関すること。
- (2) 建築物の許可又は確認の同意事務に関すること。
- (3) 防火対象物並びにその消防用設備等に関する検査、指導及び措置命令に関すること。
- (4) 防火対象物の火災原因調査に関すること。
- (5) 防火管理者、消防協力団体の指導育成に関すること。
- (6) 火災予防の関係資料収集及び統計に関すること。
- (7) その他火災予防に関すること。

○危険物係

- (1) 危険物製造所等、施設並びに設備の規制及び指導に関すること。
- (2) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (3) 液化石油ガス、高圧ガスの防災対策と関連事務に関すること。
- (4) 少量危険物、指定可燃物及び劇毒物の貯蔵取扱い等の規制に関すること。
- (5) 火薬類の貯蔵、取扱い及び消費に係る防災対策等に関すること。
- (6) 危険物関係協力団体の指導育成に関すること。
- (7) 危険物関係等の統計に関すること。
- (8) 危険物等による災害の調査及び処理に関すること。

警 防 課

○警防係

- (1) 火災その他の災害の警戒、防御並びに救急、救助に関すること。
- (2) 警防業務の運用と配備計画の策定に関すること。
- (3) 消防地理並びに水利の調査と保全に関すること。
- (4) 消防技術の訓練、研究、調査及び指導に関すること。
- (5) 防災対策に関すること。
- (6) 火災の原因調査並びに損害調査に関すること。
- (7) 気象情報の収集及び火災警報に関すること。
- (8) 消防団との連携に関すること。
- (9) 他市町との相互応援活動に関すること。
- (10) 災害防御対策検討会の開催に関すること。
- (11) 火災、水防、救急、救助の統計に関すること。
- (12) 出勤命令、非常召集に関すること。
- (13) 救急医療対策協議会に関すること。
- (14) 消防用車両及び通信施設その他消防装備、機械器具の管理運用並びに保守に関すること。
- (15) 消防装備の改善研究及び取扱い指導に関すること。
- (16) 消防本部所管の高圧ガス施設及び設備器具の維持管理に関すること。
- (17) 消防本部内の事故防止と交通安全に関すること。
- (18) 機関員、通信員の育成指導に関すること。
- (19) 水防資器材の確保及び管理に関すること。

3 消防署の事務分掌

○消防係

- (1) 水火災その他の災害の警戒、防御に関すること。
- (2) 消防訓練に関すること。
- (3) 消防機械器具の整備に関すること。
- (4) 協力団体の指導に関すること。
- (5) 火災の原因等調査に関すること。
- (6) 水火災その他の災害の記録と統計に関すること。
- (7) 消防地理及び水利の調査と保全に関すること。
- (8) 火災予防の指導、広報広聴、予防査察に関すること。

- (9) 危険物、指定可燃物等の指導取締に関する事。
- (10) 自主防災組織の育成指導に関する事。
- (11) その他消防及び火災予防に関する事。
- (12) 署事務のうち、他の係に属さない事。

○救助係

- (1) 救助活動に関する事。
- (2) 救助資機材の整備に関する事。
- (3) 救助訓練に関する事。
- (4) 救助の記録と統計に関する事。
- (5) その他救助に関する事。

○救急係

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急資機材の整備に関する事。
- (3) 救急訓練に関する事。
- (4) 救急法の普及指導に関する事。
- (5) 救急の記録と統計に関する事。
- (6) その他救急に関する事。

○通信指令係

- (1) 災害防御の指令に関する事。
- (2) 地理水利、気象、交通、電気通信等、情報収集に関する事。
- (3) 職員の非常召集に関する事。
- (4) 通信機器の維持管理に関する事。
- (5) 消防無線局等の運用に関する事。

分署

第一課、第二課の事務取扱に準ずる。

附 則

この訓令は、令和4年4月1日から施行する。

4 階級別職員数

(令和8年4月1日現在) (単位：人)

区分 \ 階級	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
定員	90	(階級別定数規定なし)					
実員	84	1	21	15	19	12	16

5 職員定数・実員及び採用・退職状況 【()内は女性】

(単位：人)

年度別	項目	定員	実数 (4/1 基準)	採用	市長部局		派遣	退職	摘要
					転入	転出			
S48		58	58	30	1	0	0	1	新見市消防本部(平成十七年三月三十一日合併) 昭和三十八年四月一日全域業務開始 昭和三十七年五月二十日発足(新見市消防本部) 昭和三十四年四月一日発足 広域消防
49		64	60	3<6月採用3>	2	2	0	1	
50		64	62	0	1	1	0	0	
51		64	64	2	0	1	0	0	
52		64	63	0	0	0	0	0	
53		69	63	0	2	2	0	1	
54		69	67	5<5月採用1>	0	0	0	1	
55		69	69	2	0	0	0	0	
56		69	69	0	3	3	0	0	
57		69	69	0	2	2	0	0	
58		69	69	0	2	2	0	0	
59		69	69	0	1	1	0	0	
60		69	69	0	0	0	0	1	
61		69	68	1<10月採用1>	1	1	0	0	
62		69	68	0	1	2	0	1	
63		69	68	1	0	0	0	1	
H元		69	68	1	2	2	0	0	
2		69	68	0	1	1	0	1	
3		70	68	1	0	0	0	1	
4		72	69	2	1	1	0	0	
5		82	72	3	0	0	0	0	
6		82	78	7	1	2	0	0	
7		82	83	5	1	1	0	1	
8		82	83	0	1	0	0	3	
9		82	80	2<9月採用1>	1	2	0	0	
10		82	81	1<9月採用1>	1	1	0	1	
11		82	81	0	0	0	0	0	
12		82	81	0	0	0	0	0	
13		82	81	0	1	1	0	2	
14		82	81	2	1	1	0	0	
15		82	81	0	1	1	0	3	
16		82	80	2	2	2	0	0	
17		81	81	0	1	0	0	4	
18		81	79	4<9月採用2>	0	0	0	2	
19		85	79	1<7月採用1>	1	2	0	4	
20		85	80	5	0	0	0	6	
21		85	81(1)	8(1)	0	0	1	8	
22		85	79(2)	5(1)	1	0	1	5	
23		85	80(2)	6(1)	1	1(1)	1	4	
24		85	81(3)	4	1(1)	0	1	1	
25		85	82(3)	2	0	1	0	7	
26		85	82(3)	7	1	1	0	7	
27		85	82(2)	6	3	2(1)	0	6	
28		85	81(2)	4	2	1	0	7	
29		85	83(3)	6	5(1)	1	1	4	
30		85	82(3)	3	1	1	1	5	
31(R元)		85	82(2)	6	1	2	1	2	
2		85	83(2)	2<再任用1含>	1	1	0	2	
3		85	83(2)	2<再任用1含>	0	0	0	2	
4		85	83(2)	3	1	2	0	3	

	5	85	83 (2)	2	1	0	0	0	
	6	85	82 (1)	2	1	3	1	1	
項目 年度別	定員	実数 (4/1 基準)	採用	市長部局		派遣	退職	摘要	
				転入	転出				
	7	85	84 (1)	4	0	1	1	3	

6 職員の配置状況

(令和8年4月1日現在) (単位：人)

階 級		計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士
区 分								
定 員		90	0	0	0	0	0	0
実 員		84 (1)	1	21	15	19 (1)	12	16
消 防 本 部	消 防 長	1	1	0	0	0	0	0
	総 務	5	0	3	2	0	0	0
	予 防	5 (1)	0	3	1	1 (1)	0	0
	警 防	3	0	2	1 (県派遣)	0	0	0
消 防 署	署 長	1	0	1	0	0	0	0
	副 署 長	2	0	2	0	0	0	0
	本 署	31	0	6	4	10	5	6
	大佐分署	9	0	1	2	2	2	2
	神郷分署	9	0	1	2	1	3	2
	哲多分署	9	0	1	1	3	1	3
	哲西分署	9	0	1	2	2	1	3

7 職員の階級別年齢状況

(令和8年4月1日現在) (単位：人)

階 級	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士
年 齢 別							
20歳未満	4	0	0	0	0	0	4
20歳～25歳	10	0	0	0	0	0	10
26歳～30歳	7	0	0	0	0	5	2
31歳～35歳	13	0	0	0	6	7	0
36歳～40歳	16	0	0	4	12	0	0
41歳～45歳	11	0	0	10	1	0	0
46歳～50歳	11	0	10	1	0	0	0
51歳～55歳	10	0	10	0	0	0	0
56歳以上	2	1	1	0	0	0	0
計	84	1	21	15	19	12	16
平均年齢(歳)	37.8	56	51	41.9	36.7	30.2	22.3

8 職員の勤続年数状況

(令和8年4月1日現在) (単位：人)

階 級 勤続年数	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士
5年未満	12	0	0	0	0	0	12
5年以上～10年未満	11	0	0	0	0	7	4
10年以上～15年未満	13	0	0	0	8	5	0
15年以上～20年未満	22	0	1	11	10	0	0
20年以上～25年未満	6	0	1	4	1	0	0
25年以上～30年未満	3	0	3	0	0	0	0
30年以上	17	1	16	0	0	0	0
計	84	1	21	15	19	12	16

9 予算

○令和8年度一般会計当初予算と消防費の比較

(単位：千円)

一般会計 予算額	消防費 予算額	割合 (%)	消 防 費									
			消 防 総務費	割合 (%)	地 域 防災費	割合 (%)	消 防 施設費	割合 (%)	地 域 防災施設費	割合 (%)	災 害 対策費	割合 (%)
27,359,000	937,217	3.4	748,713	79.9	101,926	10.9	40,002	4.3	19,619	2.1	27,357	2.9

○消防費と人口・世帯数との比較

(単位：千円)

令和8年度 消防費予算額	1世帯あたり 平均負担額	人口1人あたり 平均負担額	備 考
937,217	76.9	37.7	世帯数 12,194 世帯
			人口 24,866 人

○令和7年度消防歳出予算（当初）

（単位：千円）

項目	費目	予算額
消防費	総合計	937,217
	合計	748,713
消防総務費	報酬	2,656
	給料	334,063
	職員手当等	249,124
	共済費	115,609
	賃金	0
	報償費	616
	旅費	3,555
	交際費	90
	需用費	22,824
	役務費	3,631
	委託料	1,110
	使用料及び賃借料	4,008
	原材料費	150
	負担金・補助及び交付金	10,687
公課費	590	
	合計	101,926
地域防災費	報酬	47,178
	報償費	471
	旅費	10,775
	交際費	200
	需用費	7,304
	役務費	1,014
	委託料	568
	使用料及び賃借料	1,544
	負担金・補助及び交付金	32,222
公課費	650	
	合計	40,002
消防施設費	報償費	0
	需用費	11,676
	役務費	5,502
	委託料	16,800
	使用料及び賃借料	2,024
	工事請負費	0
	備品購入費	4,000
	負担金補助及び交付金	0
補償補填及び賠償金	0	
	合計	19,219
地域防災施設費	需用費	3,489
	委託料	0
	工事請負費	0
	原材料費	180
	備品購入費	15,400
	負担金・補助及び交付金	150

災害対策費	合 計	27,357
	報 酬	115
	職員手当等	0
	共済費	0
	報償費	15
	旅 費	40
	需用費	6,064
	役務費	124
	委託料	12,628
	使用料 及び 貸借料	2,852
	備品購入費	0
負担金補助 及び 交付金	5,519	

10 初任給格付基準

(令和8年4月1日)

学 歴	格 付	金 額
高 校 卒 業 者	行政職給料表 1級 5号給	200,300 円
短 大 卒 業 者	行政職給料表 1級 13号給	213,100 円
大 学 卒 業 者	行政職給料表 1級 25号給	232,000 円

1 1 職員諸手当支給状況

(令和7年4月1日)

手当種別	支給範囲	支給単位	金額
時間外勤務	正規の勤務時間以外に勤務することを命ぜられたとき	1時間当たりの給与額	100分の125 ～100分の150
休日勤務	当務員が休日等に勤務したとき	1時間当たりの給与額	100分の135 ～100分の160
夜間勤務	当務員が正規の勤務時間として深夜に勤務したとき	1時間当たりの給与額	100分の25
管理職員特別勤務	勤務を要しない日及び休日に勤務したとき	2時間以上6時間以下	10,000～12,000円
		6時間を越えたもの	15,000～18,000円
	週休日等以外の日の午後10時から午前5時までの間に勤務したとき	1回当たり(2時間以上)	5,000～6,000円
		1回当たり(6時間以上)	7,000～9,000円
特殊勤務手当	救急業務に出場し、作業に従事した消防職員	1回当たり	300円
	上記の業務に従事した者のうち、救急救命士の資格を有する消防職員	1回当たり	500円
	要救助者の救助作業に従事した消防職員	1回当たり	300円
	緊急時における大型緊急車両の運転に従事した消防職員	1回当たり	200円
	緊急時における大型以外の緊急車両の運転に従事した消防職員	1回当たり	100円
	異常な自然現象等により重大な災害が発生した市町村の区域(市内を除く。)において行う避難所の運営業務その他の被災地支援に関する業務に従事した職員	1日当たり	710円
	感染予防防疫作業に従事した場合(1類、2類等)	1日	700円
	緊急消防援助隊として災害が発生した市町村の区域に出場し避難救助活動等に従事した消防職員	1日	1,080円
	上記の業務のうち、著しく危険な区域において従事した消防職員	1日	2,160円

12 学校等研修状況

(令和8年4月1日現在)

区別		年度別							
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
総数		33	19	23	30	25	14	16	
消防 大学 校	幹部研修科	0	0	0	0	0	0	0	
	上級幹部科	0	0	0	0	0	0	0	
	警防科	0	0	0	1	0	0	0	
	予防科	0	0	1	0	0	0	0	
	救急科	0	0	0	0	0	0	0	
	救助科	0	0	0	0	0	0	0	
	火災調査科	0	0	0	0	0	0	0	
	新任消防長コース	0	0	0	1	1	1	0	
	幹部科	0	0	0	0	0	0	0	
消防 大学 校	初任教育	6	1	1	3	2	2	3	
	幹部教育	初級幹部科	2	2	2	2	1	1	1
		中級幹部科	2	2	2	2	2	1	1
		上級幹部科	0	0	0	0	0	0	0
	専科教育	警防科	2	2	2	2	2	1	1
		予防科	1	2	2	2	2	0	0
		火災調査科	2	2	2	2	2	1	1
		救急科	6	1	1	3	2	2	3
		救助科	3	2	2	2	2	1	1
		特殊災害科	0	1	1	1	1	0	1
	特別教育	二次救命処置講習	0	0	0	0	0	0	0
		気管挿管講習	0	0	0	0	0	0	0
		外傷初療研修	0	0	0	0	0	0	0
		薬剤投与講習	0	0	0	0	0	0	0
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	2	0	0	0	0	0	0
		ショックへの輸液・ブドウ糖投与講習	0	0	0	0	0	0	0
		ブラッシュアップ研修	4	2	2	2	2	2	1
通信指令研修		0	0	2	2	2	1	1	
実火災体験型訓練研修		0	0	2	4	2	0	0	
救急救命士	救急救命士養成課程	2	2	1	1	2	1	1	
	指導救命士養成研修	1	0	0	0	0	0	1	

3 消防職員各種免許資格取得状況

(令和8年4月1日現在)

階 級		計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
区 分								
自 動 車 運 転 免 許	大 型 車	66	1	20	15	18	11	1
	中 型 車	2	0	1	0	1	0	0
	準 中 型 車	11	0	0	0	0	1	10
	普 通 車	5	0	0	0	0	0	5
	大 型 特 殊	6	0	4	1	1	0	0
	け ん 引	6	1	5	0	0	0	0
	自 動 二 輪	32	0	11	10	9	1	1
危 険 物 取 扱 者 甲 種		1	0	1	0	0	0	0
危 険 物 取 扱 者 乙 種		43	1	10	10	13	7	2
消 防 設 備 士 甲 種		2	0	1	0	1	0	0
消 防 設 備 士 乙 種		4	0	2	2	0	0	0
火 薬 類 保 安 責 任 者		0	0	0	0	0	0	0
陸 上 特 殊 無 線 技 士		80	1	21	15	19	12	12
航 空 特 殊 無 線 技 士		3	0	0	2	1	0	0
ボ イ ラ ー 技 士		4	0	3	0	0	0	1
ア セ チ レ ン ガ ス 溶 接 士		2	0	2	0	0	0	0
電 気 工 事 士		7	0	3	1	2	1	0
建 築 士		1	0	0	1	0	0	0
毒 劇 物 取 扱 者		5	0	1	3	1	0	0
小 型 船 舶 操 縦 士		15	0	8	1	3	2	1
潜 水 士		5	0	3	0	2	0	0
応 急 手 当 指 導 員		73	1	14	15	19	12	12
移 動 式 ク レ ーン 技 能		41	0	17	12	11	0	1
玉 掛 け 技 能		41	0	17	12	11	0	1
高 所 作 業 技 能		7	0	4	2	1	0	0
酸 素 欠 乏 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者		7	0	2	3	2	0	0
救 急 救 命 士		37	1	11	6	12	4	3
小 型 建 設 機 械		2	0	1	1	0	0	0
車 両 系 建 設 機 械		1	0	1	0	0	0	0
フ ォ ー ク リ フ ト		4	0	1	1	2	0	0
二 等 無 人 航 空 機 操 縦 士		14	0	3	1	4	5	1
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者		1	0	1	0	0	0	0
予 防 技 術 資 格 者 査 察		14	0	3	4	4	2	1
予 防 技 術 資 格 者 設 備		5	0	1	2	2	0	0
予 防 技 術 資 格 者 危 険 物		7	0	3	2	1	1	0
衛 生 推 進 者		10	0	8	1	1	0	0
防 火 管 理 者		1	0	1	0	0	0	0

14 職員表彰状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	累 計	計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
計	709	15		8	1	6		
消防庁長官表彰 永年勤続功労章	31							
岡山県知事表彰 永年勤続功労章	35	1		1				
日本消防協会長 功 績 章	15							
精 績 章	31							
勤 続 章	72	4		4				
岡山県消防協会長 功 勞 章	36	1		1				
表 彰 章	49	1		1				
精 勤 章	80							
全国消防長会長 永年勤続40年表彰	21							
永年勤続35年表彰	17							
永年勤続30年表彰	62							
永年勤続25年表彰	55							
永年勤続20年表彰	65							
全消会中国支部長 永年勤続15年表彰	95	7			1	6		
備中地区消防連絡協議会 会長表彰	45	1		1				

15 消防庁舎の現況

名 称	所 在 地	建 築 年 月 日	構 造 ・ 面 積	敷 地 面 積
消 防 本 部 新 見 市 消 防 署	新見市新見 186 番地	令和 7 年 5 月 30 月	<庁舎棟> 鉄筋コンクリート造 3 階建て 延べ面積 2302.38 m ² <訓練塔> 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)5 階建て 延べ面積 484.56 m ²	4938.33 m ²
大 佐 分 署	新見市大佐小阪部 1327 番地 1	平成 9 年 3 月 26 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 270.06 m ²	1,289.69 m ²
神 郷 分 署	新見市神郷釜村 1187 番地 1	平成 14 年 3 月 30 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 267.52 m ²	1,274.31 m ²
哲 多 分 署	新見市哲多町矢戸 701 番地 2	平成 16 年 3 月 22 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 268.00 m ²	816.95 m ²
哲 西 分 署	新見市哲西町矢田 2559 番地 4	平成 15 年 2 月 28 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 268.25 m ²	1,281.29 m ²

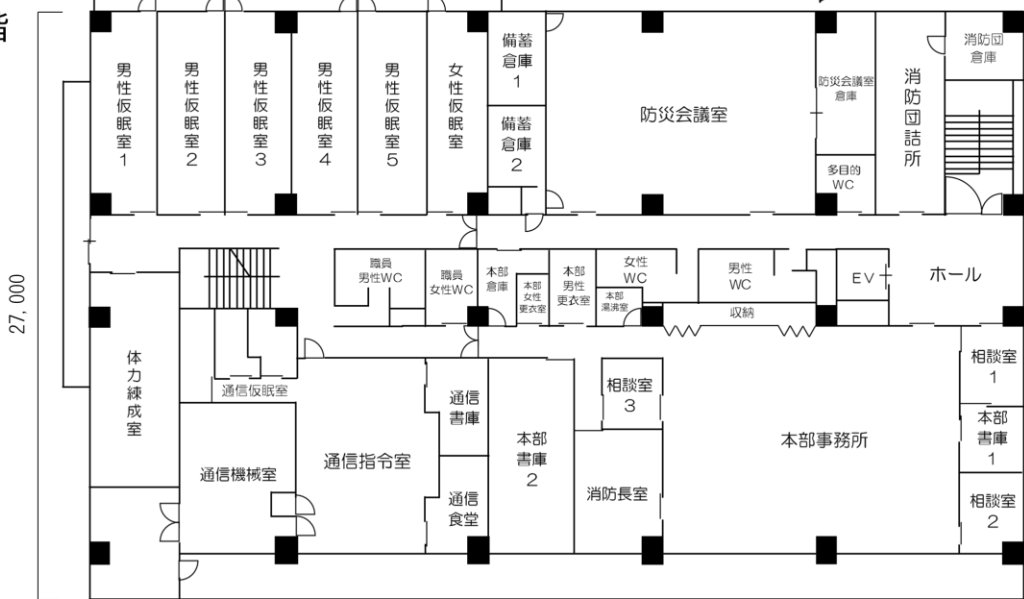
庁舎平面図

新見市消防本部・新見市消防署

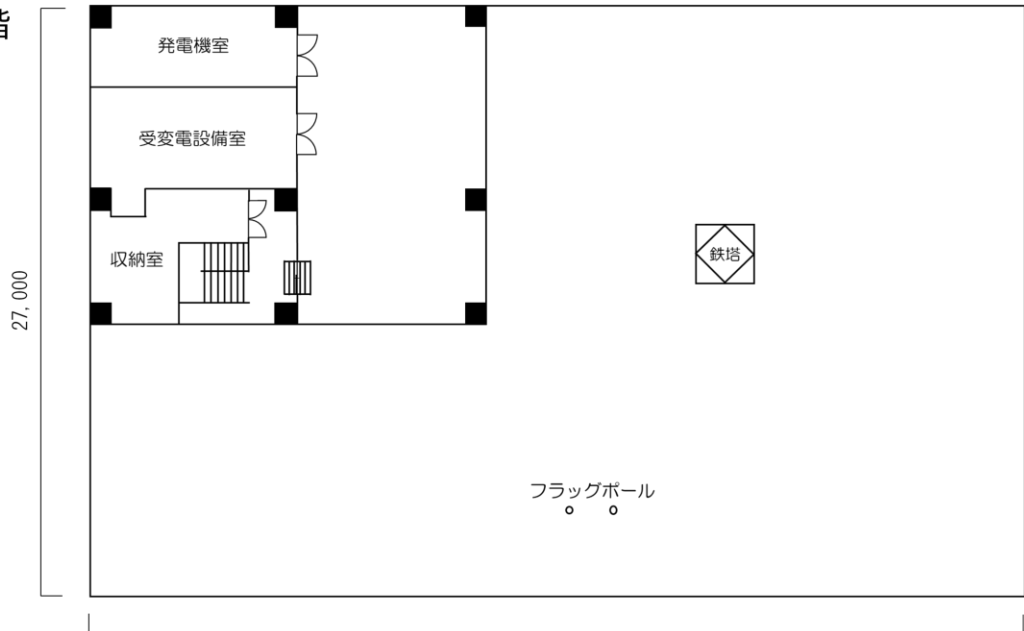
1階



2階



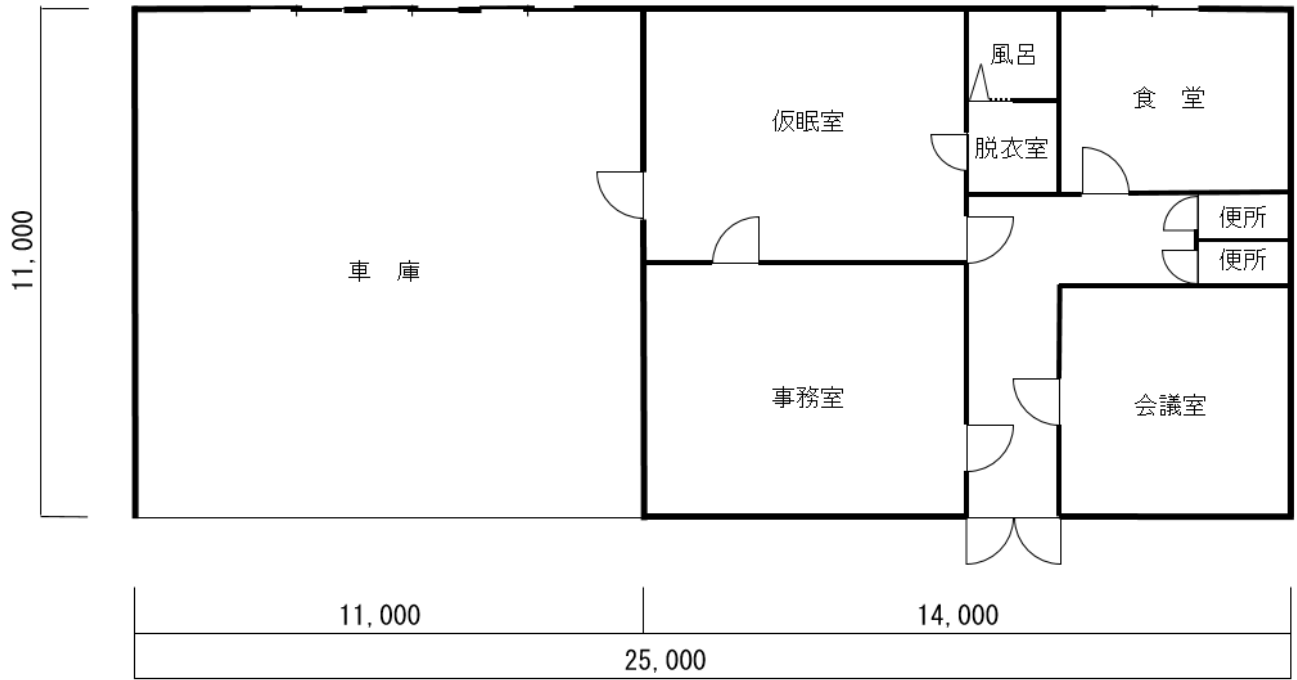
3階



43,000

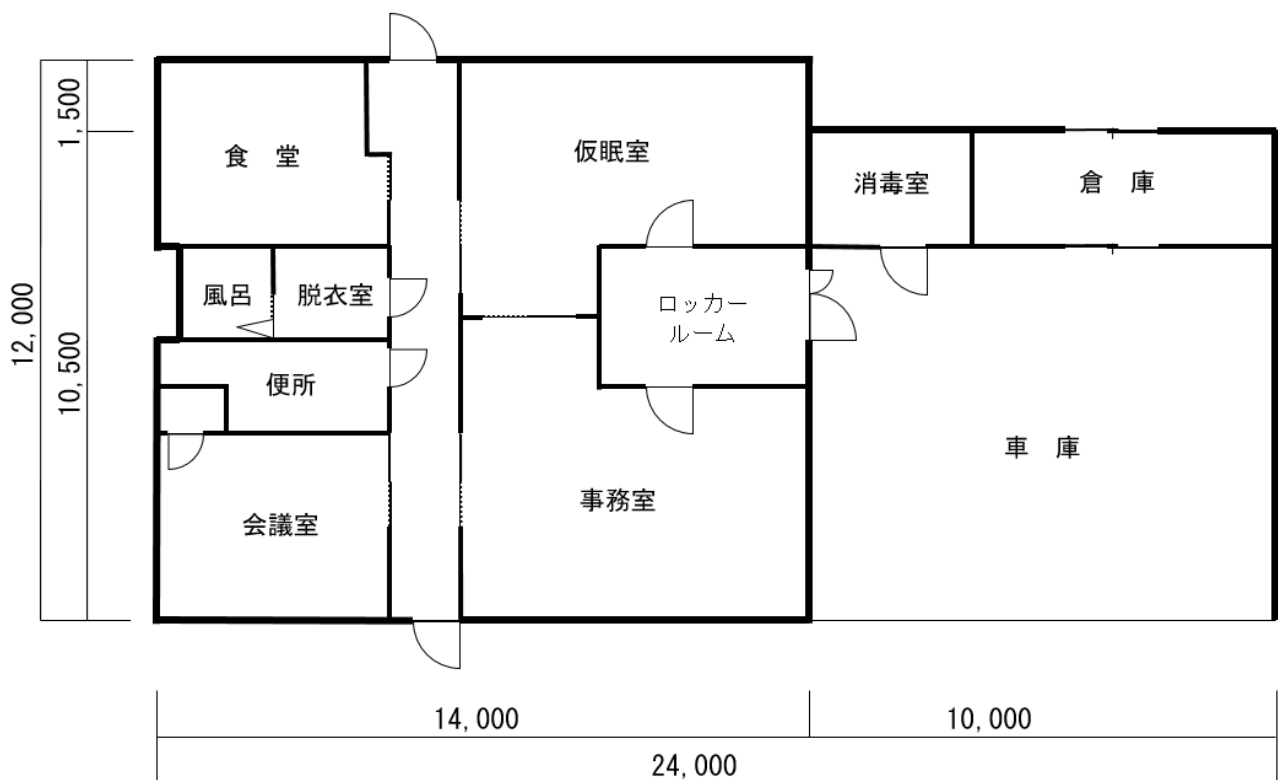
(単位:mm)

大佐分署



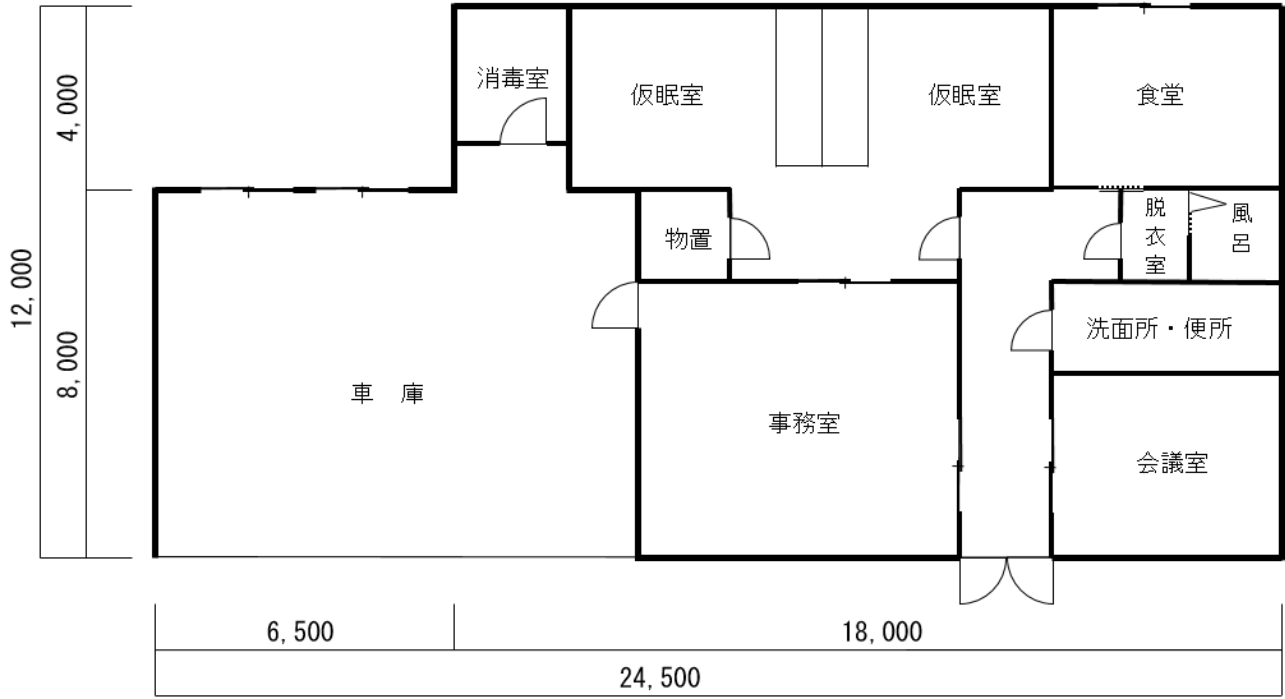
(単位:mm)

神郷分署



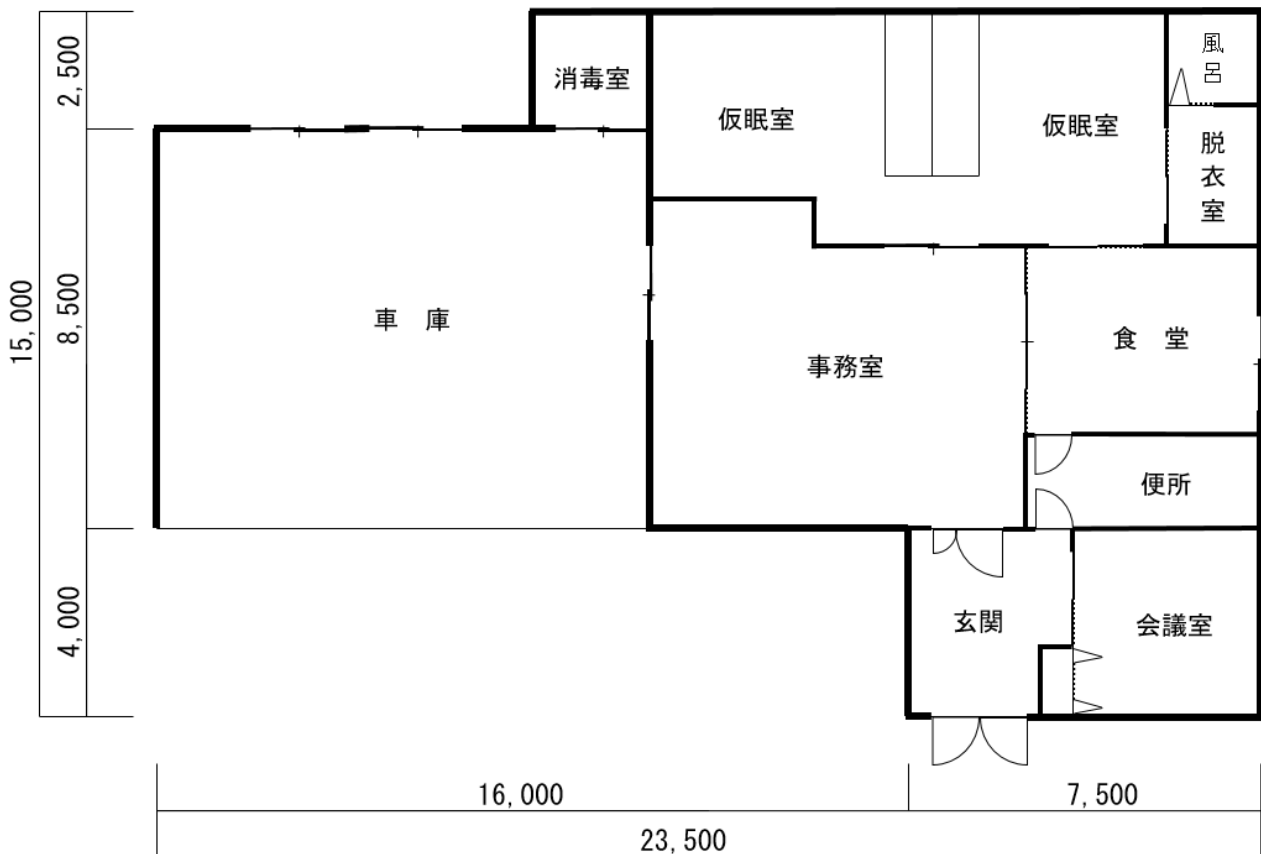
(単位:mm)

哲多分署



(単位:mm)

哲西分署



(単位:mm)

予 防

予 防

1 一般予防

(1) 火災予防条例等に基づく各種届出事務処理状況

(令和7年度) (単位: 件)

届出種別	火を使用する設備設置届	変電設備設置届	発電設備設置届	蓄電池設備設置届	アセチレンガス等	水素ガス気球設置届	少量危険物貯蔵取扱届	指定可燃物貯蔵取扱届	火災とまぎらわしい行為の届	煙火打上げ届	道路工事占用届	催物開催催届	防火対象物使用開始届	防火管理者選解任届	消防計画画届	消防訓練通知	総数
件数	7	4	1	13	4	0	10	2	602	34	320	3	18	48	47	174	1287

(2) 広報活動等実施状況

(令和7年度) (単位: 回、件)

区分	広 報 活 動											広聴事務処理
	防火講習会	避難通報消火訓練	防災訓練	地震体験車による地震体験	消防フェア	幼少年消防クラブ員署	署内見学	一日消防署長	救急講習会	職場体験学習	住宅用火災警報器設置調査	
回・件数	21	174	4	13	1	0	38	1	49	5	394	12

(3) 防火対象物件数、予防査察実施状況

(令和7年度) (単位: 件)

防火対象物種別			法第8条該当 防火対象物数	法第8条の2の2 該当防火対象物 数	法第17条該当 防火対象物数	予 防 査 察 件 数
総 数			224	16	816	173
1項	イ	劇場の類	0	0	0	0
	ロ	集会場の類	32	1	6	8
2項	イ	キャバレーの類	0	0	0	0
	ロ	遊技場の類	1	1	0	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0
3項	イ	待合の類	0	0	0	0
	ロ	飲食店	17	0	6	3
4項	百貨店の類		21	4	21	6
5項	イ	旅館の類	4	0	4	4
	ロ	共同住宅の類	5	0	148	2
6項	イ	病院の類	8	1	8	9
	ロ	福祉施設の類	22	0	0	14
	ハ	保育園・老人デイサービスセンターの類	20	0	15	6
	ニ	幼稚園の類	0	0	0	0
7項	各種学校の類		19	0	6	15
8項	図書館の類		3	0	0	1
9項	イ	サウナ等の公衆浴場類	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場類	2	0	0	0
10項	車両等の駐車場の類		0	0	0	0
11項	社寺の類		3	0	15	3
12項	イ	工場の類	9	0	184	9
	ロ	映画等スタジオの類	0	0	0	0
13項	イ	自動車車庫の類	2	0	27	2
	ロ	飛行機等の格納庫類	0	0	0	0
14項	倉庫		5	0	88	13
15項	前各項に該当しない事業所		18	0	186	39
16項	イ	特定用途の複合防火対象物	30	9	43	25
	ロ	イ以外の複合防火対象物	3	0	49	4
16項の2	地下街		0	0	0	0
16項の3	準地下街		0	0	0	0
17項	重要文化財の類		0	0	10	9
18項	アーケード		0	0	0	0

(注) 法第8条 防火管理者を必要とする対象物

(注) 法第8条の2の2 防火対象物点検報告を必要とする対象物

(注) 法第17条 消防用設備等の設置を必要とする対象物 (法第8条該当防火対象物を含まない)

(4) 消防用設備等設置状況

(令和7年度) (単位:設備)

政 令 の 設 備	設 備 の 内 訳	設 置 数
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	80
	屋 外 消 火 栓 設 備	10
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	26
	泡 消 火 設 備	1
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	0
	粉 末 消 火 設 備	4
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	471
	非 常 警 報 設 備	212
避 難 設 備	避 難 器 具	27
	誘 導 灯	310

(5) 中高層建築物の状況

(令和7年度) (単位:棟)

階 別	総 数	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階以上
棟 数	202	142	35	23	2	0

(6) 自主防災組織の現況

(令和8年4月1日現在) (単位:団体、人)

区分 市別	女性防火クラブ		少年消防クラブ		幼年消防クラブ		計	
	組織数	人 員	組織数	人 員	組織数	人 員	組織数	人 員
新見市	10	331	0	0	10	436	20	767

2 建 築

(1) 過去5年間の建築同意等事務処理件数

(単位：件)

年 度 別	確 認 申 請	計 画 通 知	確認申請受理通知	計
令和3年度	18	1	25	44
令和4年度	24	3	27	54
令和5年度	12	5	13	30
令和6年度	8	3	21	32
令和7年度	8	3	20	31

(2) 建築同意等事務処理件数

(令和7年度) (単位：件)

区 分	確 認 申 請	計 画 通 知	確認申請受理通知	計
同 意 ・ 通 知	6	5	20	31
条 件 付 同 意	0	0	0	0
不 同 意	0	0	0	0
計	6	5	20	31

(3) 建築同意等の構造別事務処理状況

(令和7年度) (単位：件)

種 別 区 分	耐 火	準 耐 火	そ の 他	計
	件 数	件 数	件 数	件 数
確認申請・計画通知	0	1	10	11
確認申請受理通知	0	0	20	20
計	0	1	30	31

(4) 建築同意等の工事種別事務処理状況

(令和7年度) (単位：件)

種 別 区 分	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計
	件 数	件 数	件 数	件 数	件 数
確認申請・計画通知	11	0	0	0	11
確認申請受理通知	17	3	0	0	20
計	28	3	0	0	31

(5) 建築同意等の用途別事務処理状況

(令和7年度) (単位: 件)

用 途	件 数
総 数	12
劇場・映画館・観覧場	0
公会堂又は集会場	0
キャバレー・カフェ・ナイトクラブ類	0
遊技場又はダンスホール	0
性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0
カラオケボックス等	0
待合・料理店	0
飲食店	0
百貨店又はマーケット	1
旅館・ホテル	0
下宿・寄宿舎又は共同住宅	4
病院・診療所・助産所	0
各種福祉施設	0
保育園・老人デイサービスセンター	0
幼稚園・盲ろう学校	0
小・中・高等学校・大学・各種学校	1
図書館・美術館	0
サウナ等の公衆浴場	0
その他の公衆浴場	0
停車場又は発着場	0
神社・寺院・教会	0
工場又は作業場	1
スタジオ	0
車庫又は駐車場	2
飛行機等の格納庫	0
倉庫	0
各項に該当しない事業場	1
特定用途を含む複合	0
上記以外の複合	0
一般住宅	2
準住宅・併用住宅	0
その他	0

(6) 消防用設備等届出及び検査状況

(令和7年度) (単位: 件)

種 別	区 分	着工届	設置届	検査済
		13	57	65
総 数		13	57	65
消 火 設 備	消 火 器	0	14	13
	屋 内 消 火 栓	0	2	2
	ス プ リ ン ク ラ ー	0	0	0
	水 噴 霧	0	0	0
	泡	0	0	0
	二 酸 化 炭 素	0	0	0
	ハ ロ ゲ ン 化 物	0	0	0
	粉 末	0	0	0
	屋 外 消 火 栓	0	0	0
	動 力 消 防 ポ ンプ	0	0	0
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知	8	27	33
	漏 電 火 災 警 報 器	0	0	0
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 設 備	0	0	0
	非 常 警 報 設 備	1	1	2
避 難 設 備	避 難 器 具	0	0	0
	誘 導 灯	4	13	15
消 防 用 水	消 防 用 水	0	0	0
消 火 活 動 上 必 要 な 施 設	排 煙 設 備	0	0	0
	連 結 散 水	0	0	0
	連 結 送 水	0	0	0
	非 常 コ ン セ ント	0	0	0
	無 線 通 信 補 助 設 備	0	0	0
非 常 電 源	専 用 受 電 設 備	0	0	0
	自 家 発 電 設 備	0	0	0
	蓄 電 池 設 備	0	0	0

3 危険物

(1) 過去5年間の施設数の状況

(単位：件)

種別 年度別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					事 業 所 の 数	
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
R3	230	0	130	12	4	29	5	38	0	42	100	59	1	0	0	40	78
4	228	0	127	11	4	29	5	36	0	42	101	59	1	0	0	41	78
5	225	0	125	11	4	29	5	35	0	41	100	58	1	0	0	41	74
6	223	0	121	10	4	29	5	32	0	41	102	58	1	0	0	43	76
7	222	0	121	10	4	29	5	32	1	40	101	57	1	0	0	43	77

(2) 数量別危険物施設状況

(令和8年4月1日現在) (単位：件)

区分	数量別	総 数	5 倍 以下	5 倍 を 超 え	10 倍 を 超 え	50 倍 を 超 え	100 倍 を 超 え	150 倍 を 超 え	200 倍 を 超 え	1000 倍 を 超 え	5000 倍 を 超 え	10000 倍 を 超 え る も の
			数	10 倍 以下	50 倍 以下	100 倍 以下	150 倍 以下	200 倍 以下	1000 倍 以下	5000 倍 以下	10000 倍 以下	
総	数	222	91	36	55	22	10	3	5	0	0	0
製	造 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯 蔵 所	小 計	121	71	19	23	7	1	0	0	0	0	0
	屋 内 貯 蔵 所	10	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0
	屋 外 貯 蔵 所	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	屋 外 タンク 貯蔵所	29	6	9	10	4	0	0	0	0	0	0
	屋 内 タンク 貯蔵所	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	地 下 タンク 貯蔵所	32	18	5	5	3	1	0	0	0	0	0
	簡 易 タンク 貯蔵所	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取 扱 所	移 動 タンク 貯蔵所	40	35	2	3	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	101	20	17	32	15	9	3	5	0	0	0
	給 油 取 扱 所	57	3	8	15	14	9	3	5	0	0	0
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移 送 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一 般 取 扱 所	43	17	8	17	1	0	0	0	0	0	0	

(3) 危険物類別施設状況

(令和8年4月1日現在) (単位:施設)

種 別 施設区分		総 数	単 独					混 在	
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類		第 6 類
総 数		222	0	0	0	222	0	0	0
製 造 所		0	0	0	0	0	0	0	0
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	10	0	0	0	10	0	0	0
	屋 外 貯 蔵 所	4	0	0	0	4	0	0	0
	屋外タンク貯蔵所	29	0	0	0	29	0	0	0
	屋内タンク貯蔵所	5	0	0	0	5	0	0	0
	地下タンク貯蔵所	32	0	0	0	32	0	0	0
	簡易タンク貯蔵所	1	0	0	0	1	0	0	0
	移動タンク貯蔵所	40	0	0	0	40	0	0	0
取 扱 所	給 油 取 扱 所	57	0	0	0	57	0	0	0
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	0	0	1	0	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0
	移 送 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 般 取 扱 所	43	0	0	0	43	0	0	0

(4) 危険物施設立入検査の状況

(令和7年度) (単位:施設、回)

区 分	施 設 数	検査施設数	延べ回数
総 数	222	51	51
製 造 所	0	0	0
貯 蔵 所	小 計	121	29
	屋 内 貯 蔵 所	10	1
	屋 外 貯 蔵 所	4	1
	屋外タンク貯蔵所	29	0
	屋内タンク貯蔵所	5	0
	地下タンク貯蔵所	32	14
	簡易タンク貯蔵所	1	0
	移動タンク貯蔵所	40	13
取 扱 所	小 計	101	22
	給 油 取 扱 所	57	14
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0
	移 送 取 扱 所	0	0
	一 般 取 扱 所	43	8

4 煙火消費許可

過去5年間煙火消費許可件数

(単位：件)

年 度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
許可件数	8	12	14	12	11

5 高圧ガス

(1) 第一種製造者及び第二種製造者数

(単位：事業所)

年度		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
種別						
第一種製造者	一般則	1	1	1	1	1
	LP則	2	2	2	2	2
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	3	3	3	3	3
	冷凍則	1	1	1	1	1
第二種製造者	一般則	4	4	4	4	4
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	4	4	4	4	4

(2) 販売業者、貯蔵所

(単位：事業所)

年度		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
種別						
販売業者	一般則	21	21	21	21	21
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	21	21	21	21	21
	冷凍則	0	0	0	0	0
一般貯蔵所	一般則	0	0	0	1	1
	LP則	0	1	1	1	1
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	0	1	1	2	2
二種貯蔵所	一般則	2	2	2	2	2
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	2	2	2	2	2

(3) 特定高圧ガス消費者及び登録容器検査所数

(単位：事業所)

年度		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
種別						
特定高圧ガス消費者	一般則	2	2	2	2	2
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合計	2	2	2	2	2
登録容器検査所数		0	0	0	0	0

※ 一般則：一般高圧ガス保安規則をいう

LP則：液化石油ガス保安規則をいう

冷凍則：冷凍保安規則をいう。

警 防

警 防

1 消防力の現況

(令和8年4月1日現在)

区分 署所名	署 所	消 防 職 員	普 通 消 防 ポン プ 自動 車	水 槽 付 消 防 ポン プ 自動 車	化 学 消 防 自 動 車	救 助 工 作 車	は し ご 付 消 防 自 動 車	救 急 自 動 車	無 線 電 話		
									基 地 局	固 定 局	移 動 局
消防力の整備指針	4	120	5	1	1	1	1	6	0	0	0
現 有 計	5	84	4	3	0	1	0	7	6	2	73
消 防 本 部 ・ 署	1	48	1	2	0	1	0	3	2	2	41
大 佐 分 署	1	9	1	0	0	0	0	1	2	0	8
神 郷 分 署	1	9	1	0	0	0	0	1	1	0	8
哲 多 分 署	1	9	0	1	0	0	0	1	0	0	8
哲 西 分 署	1	9	1	0	0	0	0	1	1	0	8

2 消防出動状況

(令和7年中) (単位:回、人)

計		火 災		救急業務		救助業務		風水害の災害		演習訓練		広報・指導	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
2,346	6,943	13	188	1,732	4,954	31	139	4	8	17	105	177	485

警防調査		原因調査		特別警戒		捜 索		予防査察		誤 報 等		そ の 他	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
192	570	9	36	1	2	16	36	77	236	3	9	74	175

3 消防装備（本部・署自動車等配置状況）

（令和8年4月1日現在）

所 属	車 両 別	名 称	登 録 番 号	車 名	定 員	年 式	購 入 年 月	原 動 機 性 能		ポ ン プ 性 能		無 線		備 考	
								気筒数	排気量	級 別	規格放水量	出 力	呼出名称		
	予防指導車		岡山 100 す 7839	マツダ	3	平成21	平成21.8	4	1,990cc						
	団 活 動 車	新見団指揮1号車	岡山 880 あ 443	ダイハツ	4	平成20	平成20.2	3	650cc			5W	にいみだんしき1		
	団 活 動 車	新見団指揮2号車	岡山 800 せ 4240	トヨタ	10	令和6	令和6.2	4	2,690cc			5W	にいみだんしき2		
	多機能車	団 積 載 車	岡山 800 す 5864	イスゞ	6	平成22	平成22.3	4	2,990cc				—		
消 防 本 署	救 急 車	新見救急1号車	岡山 800 せ 2513	ニッサン	7	令和 3	令和3.2	4	2,480cc			5W	にいみきゆうきゆう1		
	救 急 車	新見救急2号車	岡山 800 せ 3103	ニッサン	7	令和 4	令和4.3	4	2,480cc			5W	にいみきゆうきゆう2		
	救 急 車	新見救急3号車	岡山 800 せ 1439	ニッサン	7	平成31	平成31.3	4	2,480cc			5W	にいみきゆうきゆう3		
	消 防 車	新見ポンプ1号車	岡山 800 す 4371	ヒノ	5	平成20	平成20.2	4	4,000cc	A2	2.35m ³ /min	5W	にいみぽんぷ1		
	消 防 車	新見特消1号車	岡山 800 は 1884	ヒノ	6	令和 5	令和5.1	8	5,120cc	A2	2.53m ³ /min	5W	にいみとくしょう1	薬液40ℓ 水槽900ℓ	
	タ ン ク 車	新見タンク1号車	岡山 800 は 1338	ヒノ	6	平成24	平成24.12	6	6,400cc	A2	2.22m ³ /min	5W	にいみたんく1	薬液60ℓ 水槽2,000ℓ	
	救助工作車	新見救助1号車	岡山 800 は 1228	ヒノ	6	平成22	平成22.6	6	6,400cc			5W	にいみきゆうじょ1		
	資 機 材 搬 送 車	新見搬送1号車	岡山 800 せ 4887	イスゞ	3	令和 7	令和7.3	6	2,990cc			5W	にいみはんそう1		
	支 援 車	新見支援1号車	岡山 880 あ 1699	スズキ	4	平成29	平成29.8	3	650cc			5W	にいみしえん1		
	連 絡 車	ハイエース	岡山 300 ほ 1631	トヨタ	10	平成17	平成17.3	4	2,690cc						
	連 絡 車	ハイゼット	岡山 480 せ 8313	ダイハツ	4	平成26	平成26.7	3	650cc						
	連 絡 車	i ミ ー ヴ	岡山 584 き 213	三菱	4	平成21	平成21.12	4	25.0kw						
消 防 署	大 佐 分 署	消 防 車	大佐ポンプ1号車	岡山 800 せ 2016	ヒノ	5	令和 2	令和2.3	6	4,000cc	A2	2.23m ³ /min	5W	おおさぽんぷ1	
	大 佐 分 署	救 急 車	大佐救急1号車	岡山 800 せ 5290	トヨタ	7	令和 8	令和8.2	4	2,690cc			5W	おおさきゆうきゆう1	
	神 郷 分 署	消 防 車	神郷ポンプ1号車	岡山 88 せ 1828	三菱	6	平成 9	平成9.12	4	4,560cc	A2	2.26m ³ /min	5W	しんごうぽんぷ1	
		救 急 車	神郷救急1号車	岡山 800 す 9317	ニッサン	8	平成27	平成27.11	4	2,500cc			5W	しんごうきゆうきゆう1	
	哲 多 分 署	消 防 車	哲多ポンプ1号車	岡山 800 す 5717	ヒノ	5	平成22	平成22.1	6	4,000cc	A2	2.35m ³ /min	5W	てったぽんぷ1	薬液60ℓ 水槽600ℓ
		救 急 車	哲多救急1号車	岡山 800 せ 558	ニッサン	7	平成29	平成29.11	6	3,490cc			5W	てったきゆうきゆう1	
	哲 西 分 署	消 防 車	哲西ポンプ1号車	岡山 800 さ 1440	三菱	6	平成11	平成11.3	6	4,560cc	A2	2.23m ³ /min	5W	てっせいぽんぷ1	
		救 急 車	哲西救急1号車	岡山 800 せ 3104	ニッサン	7	令和 4	令和4.3	4	2,480cc			5W	てっせいきゆうきゆう1	

4 有線通信施設

本 部、署

(令和8年4月1日現在)

種 別	回線数	備 考
119 番 受 付	8	固定ISN(4), 携帯(2), 携帯転送(2)
加 入 電 話	4	新見局(0867) 72-0119 (代)
直 通 電 話	5	中国自動車道マイクロ電話, 県防災(4)

大佐分署

加 入 電 話	1	大佐局(0867) 98-2131
---------	---	-------------------

神郷分署

加 入 電 話	1	神郷局(0867) 93-5012
---------	---	-------------------

哲多分署

加 入 電 話	1	哲多局(0867) 96-2131
---------	---	-------------------

哲西分署

加 入 電 話	1	哲西局(0867) 94-2103
---------	---	-------------------

5 無線通信施設

(令和8年4月1日現在)

防災行政通信ネットワークの衛星系	6335
------------------	------

基地局

種 別 / 区 分	設 置 場 所	呼 出 名 称	空 中 線 電 力	所 属
基地局(マイクロ多重無線設備)	鳶ヶ巣山	しょうぼうとびがすやま	20W	新見市消防署
基地局(マイクロ多重無線設備)	佐武佐山	しょうぼうさぶさやま	20W	新見市消防署
基地局	大佐分署	しょうぼうおおさ	10W	新見市消防署
基地局	新見市 大佐大井野	しょうぼうおおいの	10W	新見市消防署
基地局	新見市 千屋花見	しょうぼうちや	10W	新見市消防署
基地局	哲西分署	しょうぼうてっせい	10W	新見市消防署

固定局・移動局

(車載はデュアルバンド)

種別 \ 区分	設置場所	呼出名称	空中線電力	所属
固定局	新見市消防署	にいみしょうぼう	250mW	新見市消防署
固定局	鳶ヶ巣山	しょうぼうとびがすやま	250mW	新見市消防署
移動局 (卓上)	新見市消防署	にいみしょうぼう	5W	新見市消防署
移動局 (卓上)	大佐分署	おおさしょうぼう	5W	大佐分署
移動局 (卓上)	神郷分署	しんごうしょうぼう	5W	神郷分署
移動局 (卓上)	哲多分署	てったしょうぼう	5W	哲多分署
移動局 (卓上)	哲西分署	てっせいしょうぼう	5W	哲西分署
移動局 (車載)	救急車	にいみきゅうきゅう 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	救急車	にいみきゅうきゅう 2	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	救急車	にいみきゅうきゅう 3	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	消防車	にいみぼんぷ 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	タンク車	にいみたんく 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	M V F	にいみとくしょう 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	救助工作車	にいみきゅうじょ 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	資機材搬送車	にいみはんそう 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	団活動車	にいみだんしき 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	団活動車	にいみだんしき 2	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	支援車	にいみしえん 1	5W	新見市消防署
移動局 (車載)	消防車	おおさぼんぷ 1	5W	大佐分署
移動局 (車載)	救急車	おおさきゅうきゅう 1	5W	大佐分署
移動局 (携帯)	大佐分署	おおさ 101	2W	大佐分署
移動局 (携帯)	大佐分署	おおさ 102	2W	大佐分署
移動局 (車載)	消防車	しんごうぼんぷ 1	5W	神郷分署
移動局 (車載)	救急車	しんごうきゅうきゅう 1	5W	神郷分署
移動局 (携帯)	神郷分署	しんごう 101	2W	神郷分署
移動局 (携帯)	神郷分署	しんごう 102	2W	神郷分署
移動局 (車載)	消防車	てったぼんぷ 1	5W	哲多分署
移動局 (車載)	救急車	てったきゅうきゅう 1	5W	哲多分署
移動局 (携帯)	哲多分署	てった 101	2W	哲多分署
移動局 (携帯)	哲多分署	てった 102	2W	哲多分署
移動局 (車載)	消防車	てっせいぼんぷ 1	5W	哲西分署
移動局 (車載)	救急車	てっせいきゅうきゅう 1	5W	哲西分署

移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 101	2W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 102	2W	哲西分署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 101	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 102	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 103	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 104	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 105	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 106	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 107	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 108	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 109	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみしき 110	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみしき 111	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	しき 20	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	しき 30	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 1	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 2	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 3	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 4	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 5	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 6	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 7	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 8	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 9	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 10	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 11	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 12	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 13	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 14	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 15	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 16	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 1	1W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 2	1W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 3	1W	大佐分署

移動局（携帯）	神郷分署	しんごう 1	1W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	しんごう 2	1W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	しんごう 3	1W	神郷分署
移動局（携帯）	哲多分署	てった 1	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	てった 2	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	てった 3	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 1	1W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 2	1W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 3	1W	哲西分署

(2) 原因別火災発生状況

(令和7年中)

出火原因	件数	焼損面積等				損害額 (千円)
		床(m ²)	表面(m ²)	林野(a)	車両(台)	
火入れ	2	0.0	0.0	6.4	0	0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0	104
不明	2	3.1	3.0	0.0	1	1,675
たき火	1	0.0	0.0	1.8	0	0
電気機器	1	0.0	0.0	0.0	0	50
内燃機関	1	0.0	0.0	0.0	0	927
排気管	1	0.0	0.0	0.0	1	5
衝突の火花	1	0.0	0.0	0.0	1	0
灯火	1	389.6	0.0	0.0	0	8,360
その他の自然発火しやすいもの	1	0.0	1.7	0.0	0	38
総計	13	392.7	4.7	8.2	3	11,159

(3) 出火原因別(発火源・経過・着火物)発生状況

(令和7年中)(単位:件)

発火源	経過	着火物
枯れ草焼き	2 火源が動いて接触する	3 不明
不明	2 不明	3 枯草(生えたまま枯れたもの)
たき火	1 高温が触れる	2 木屑
蓄電池	1 可燃物が火源の上に転倒落下する	1 繊維製品
内燃機関	1 不適當なところに捨て置く	1 第一石油類
排気管	1 衝突により発火	1 ごみ類
車体等の衝撃火花	1 摩擦により発熱する	1 その他(下草)
その他の摩擦により熱せられたもの	1 自然発火する	1 その他(合成皮革)
溶融金属	1	
切削くず	1	
灯明	1	

(令和7年中)

区 分	死傷者数		損 害 額 (千円)							焼 損 面 積 等				
	死 者	負 傷 者	計	建 物			林 野	車 両	そ の 他	建 物 床 面 (㎡)	建 物 表 面 (㎡)	林 野 (a)	車 両 (台)	
				建 物	収 容 物	小 計								
令和3年	0	4	8,289	5,234	2,678	7,912	1	0	376	643.1	10.6	14.3	0	
令和4年	1	1	5,257	2,205	206	2,411	0	2,684	162	132.4	1.6	313.4	7	
令和5年	1	1	5,139	518	273	791	60	4,288	0	53.1	0.0	99.8	5	
令和6年	0	4	13,958	8,022	726	8,748	0	3,256	1,954	395.8	9.4	16.4	6	
令和7年	0	3	11,159	7,968	586	8,554	0	1,628	977	392.7	4.7	8.2	3	
月 別	1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	4月	0	0	50	0	0	0	0	50	0.0	0.0	1.8	0	
	5月	0	0	927	0	0	0	0	927	0.0	0.0	0.0	0	
	6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	7月	0	0	57	51	1	52	0	5	0	3.1	3.0	0.0	1
	8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	1	
	9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	10月	0	1	1,727	0	104	104	0	1,623	0	0.0	0.0	0.0	1
	11月	0	1	38	3	35	38	0	0	0	0.0	1.7	6.4	0
	12月	0	1	8,360	7,914	446	8,360	0	0	0	389.6	0.0	0.0	0
地 区 別	新見	0	1	1,119	3	139	142	0	0	977	0.0	1.7	0.0	1
	大佐	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	神郷	0	0	1,628	0	0	0	0	1,628	0.0	0.0	0.0	2	
	哲多	0	2	8,412	7,965	447	8,412	0	0	0	392.7	3.0	6.4	0
	哲西	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1.8	0	

(4) 時間別、曜日別、覚知別発生状況

(令和7年中)(単位:件)

(イ) 時間別

区分 時間別	火災種別件数				
	総数	建物	林野	車両	その他
総数	13	5	2	3	3
0 ~ 1	0	0	0	0	0
1 ~ 2	0	0	0	0	0
2 ~ 3	0	0	0	0	0
3 ~ 4	0	0	0	0	0
4 ~ 5	0	0	0	0	0
5 ~ 6	0	0	0	0	0
6 ~ 7	0	0	0	0	0
7 ~ 8	0	0	0	0	0
8 ~ 9	0	0	0	0	0
9 ~ 10	3	3	0	0	0
10 ~ 11	0	0	0	0	0
11 ~ 12	1	1	0	0	0
12 ~ 13	1	0	0	1	0
13 ~ 14	2	1	0	0	1
14 ~ 15	0	0	0	0	0
15 ~ 16	2	0	1	0	1
16 ~ 17	2	0	1	1	0
17 ~ 18	1	0	0	1	0
18 ~ 19	1	0	0	0	1
19 ~ 20	0	0	0	0	0
20 ~ 21	0	0	0	0	0
21 ~ 22	0	0	0	0	0
22 ~ 23	0	0	0	0	0
23 ~ 24	0	0	0	0	0

(ロ) 曜日別

区分 曜日	火災種別件数				
	総数	建物	林野	車両	その他
総数	13	5	2	3	3
日	2	1	1	0	0
月	2	1	0	1	0
火	2	1	1	0	0
水	2	1	0	0	1
木	1	0	0	1	0
金	2	0	0	1	1
土	2	1	0	0	1

(ハ) 覚知別

区分 覚知別	火災種別件数				
	総数	建物	林野	車両	その他
総数	13	5	2	3	3
火災専用電話	10	3	2	2	3
加入電話	1	0	0	1	0
警察電話	0	0	0	0	0
駆け付け通報	0	0	0	0	0
事後聞知	2	2	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

7 月別火災出動及び使用機器状況

(令和7年中)

区分 月	火災 件数 (件)	出動 回数 (回)	出動 人員 (人)	使用機器		使用 ホース (本)
				自 動 車 (台)	小ポ 型 ン 動 カブ (台)	
総数	13	11	191	19	0	128
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
4月	3	3	43	4	0	13
5月	1	1	19	3	0	13
6月	0	0	0	0	0	0
7月	2	2	17	1	0	5
8月	1	1	8	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	3	2	52	4	0	29
11月	2	1	18	3	0	20
12月	1	1	34	4	0	48

8 主な火災の記録

年別	出火日時		用途	出火場所	出火原因	焼損面積等	損害額(千円)	死者	傷者
	月日	時分							
27	5月25日	23:27	共同住宅	新見市西方	不明	560	7,119	0	0
28	該当火災なし								
29	4月28日	11:28	特殊車両	新見市下熊谷	不明	0	10,196	0	0
	5月17日	10:31	住宅	新見市哲多町花木	不明	132	2,940	0	0
	12月18日	6:54	納屋	新見市大佐大井野	不明	514	6,040	0	0
30	3月23日	12:46	住宅	新見市神郷高瀬	不明	293	5,125	1	0
	3月26日	17:43	倉庫	新見市新見	その他	70	11,585	0	1
	4月26日	19:40	住宅	新見市新見	不明	154	4,599	0	2
	6月11日	16:43	住宅	新見市哲多町荻尾	かまど	382	5,531	0	0
令和元	5月4日	14:10	倉庫	新見市神郷高瀬	不明	123	1,387	0	0
	5月6日	12:41	住宅	新見市神郷油野	直接雷	145	2,129	0	0
2	1月12日	1:51	作業場	新見市大佐田治部	不明	341	3,537	0	0
	7月26日	14:50	置場	新見市神郷高瀬	不明	723	6,692	0	0
	12月1日	18:59	住宅	新見市新見	ストーブ	235	12,679	0	1
3	4月7日	15:58	倉庫	新見市豊永赤馬	たき火	177	1,474	0	0
	6月9日	13:35	納屋	新見市坂本	不明	219	2,228	0	0
	7月21日	16:31	住宅	新見市千屋花見	煙突・煙道	165	2,449	0	1
4	3月17日	14:20	普通林	新見市豊永宇山	不明	62	0	0	0
	4月13日	10:52	田んぼの畦	新見市哲多町蚊家	たき火	202.5	20	0	1
	11月28日	1:19	住宅	新見市金谷	不明	113.3	2,363	1	0
5	4月13日	12:09	林内運搬車	新見市上市	排気管	70	3,383	0	0
6	5月26日	14:07	納屋	新見市哲多町花木	たき火	120	1,213	0	0
7	12月29日	9:13	住宅	新見市哲多町花木	灯火	390	8,360	0	1

※本表は、建物で焼損面積100平方メートル以上、又は損害額501万円以上、林野で51アール以上の火災を記録した。

救 急

出場件数……1,732件

1日平均…… 4.7件

搬送人員……1,638件

項 目

目 次

- 令和7年 救急の概要
- 1. 月別救急出場件数
- 2. 月別救急搬送人員
- 3. 出場場所地区別救急出場件数
- 4. 署所別出場件数及び搬送人員
- 5. 行政区別出場件数
- 6. 年齢別搬送人員
- 7. 事故発生場所区分別搬送人員
- 8. 現場到着所要時間別出場件数
- 9. 医療機関等への収容時間別搬送人員
- 10. 現場到着所要時間、医療機関等収容時間の推移状況
- 11. 不搬送理由別不搬送件数
- 12. 時間帯別、事故種別別出場件数
- 13. 曜日別、事故種別別出場件数
- 14. 過去10年間の事故種別別出場件数
- 15. 過去10年間の年齢別搬送人員の状況
- 16. 過去10年間の傷病程度別搬送人員の状況
- 17. 過去10年間の心肺停止傷病者への一般市民による応急手当実施状況

令和7年 救急の概要

令和7年中の新見市の救急出場件数は1,732件、救急搬送人員は1,638人となりました。昨年と比較すると出場件数は15件、搬送人員は6人の増加となりました。

1. 救急出場件数は1日平均4.7件。管内人口の15人に1人が救急搬送されたこととなります。管内人口は2025年12月末の人口(24,785人)で算出しています。
2. 救急による搬送人員のうち、65歳以上の高齢者の占める割合が高く76.8%(全搬送人員の内1,258人)となっています。
3. 事故種別別出場件数は、急病1,006件(58%)、転院搬送315件(18.2%)、一般負傷280件(16.2%)、交通76件(4.4%)の順となっています。
4. 署所別の救急出場件数は、本署1,110件(64.1%)、大佐分署209件(12.1%)、哲西分署208件(12%)、神郷分署103件(5.9%)、哲多分署102件(5.9%)となっています。
5. 現場到着所要時間は、覚知(119番通報)から平均で11.5分となっており、医療機関等収容所要時間は覚知から平均53.0分となっています。

1. 月別救急出場件数

(単位：件)

区分 月別	救急事故種別												出場件数
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
1月	0	0	0	7	0	0	29	0	0	106	23	0	165
2月	0	0	0	9	4	0	25	1	0	93	24	0	156
3月	0	0	0	4	0	1	25	0	3	86	23	0	142
4月	3	0	0	5	0	2	20	0	0	87	30	0	147
5月	1	0	0	8	1	1	22	1	2	73	29	0	138
6月	0	0	0	9	3	1	16	0	0	66	26	0	121
7月	0	0	0	2	2	1	21	0	2	87	42	0	157
8月	1	0	0	6	3	2	20	0	1	79	18	1	131
9月	0	0	0	5	5	1	30	0	2	71	20	0	134
10月	2	0	0	8	2	0	30	0	1	82	31	0	156
11月	1	0	0	7	0	0	16	0	0	98	31	0	153
12月	1	0	0	6	1	1	26	0	1	78	18	0	132
合計	9	0	0	76	21	10	280	2	12	1,006	315	1	1,732

最も多い月は1月で165件、最も少ないのは6月で121件となり、救急件数は昨年比15件の増加となっています。1月は季節性のインフルエンザ感染症や、以前から続く新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、救急件数が増加したと考えられます。

救急事故種別件数では「急病」1,006件（-25件）、「一般負傷」280件（+34件）、「交通事故」76件（-13件）、「その他」316件（-5件）となっています。「その他」には転院搬送315件が含まれています。

2. 月別救急搬送人員

(単位：人)

区分 月別	救急事故種別												搬送人員
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
1月	0	0	0	6	0	0	28	0	0	95	23	0	152
2月	0	0	0	5	3	0	24	1	0	91	24	0	148
3月	0	0	0	2	0	1	22	0	1	80	23	0	129
4月	0	0	0	5	0	2	18	0	0	79	30	0	134
5月	0	0	0	5	1	1	22	1	2	71	29	0	132
6月	0	0	0	10	3	1	16	0	0	61	26	0	117
7月	0	0	0	2	2	1	21	0	2	84	42	0	154
8月	0	0	0	5	3	2	20	0	1	74	18	0	123
9月	0	0	0	5	5	0	28	0	1	68	20	0	127
10月	1	0	0	7	2	0	34	0	1	77	31	0	153
11月	0	0	0	4	0	0	16	0	0	95	31	0	146
12月	1	0	0	6	1	1	24	0	1	71	18	0	123
合計	2	0	0	62	20	9	273	2	9	946	315	0	1,638

急病が全搬送人員の57.5%（946人）を占めており、転院搬送19.2%（315人）、一般負傷16.7%（273人）、の順になっています。

3. 出場場所地区別救急出場件数

(単位：件)

		新見市	新見市大佐	新見市神郷	新見市哲多町	新見市哲西町	応協地 援定区	合計
救急事故 種別	火災	4	0	1	2	2	0	9
	自然災害	0	0	0	0	0	0	0
	水難	0	0	0	0	0	0	0
	交通事故	59	3	3	10	1	0	76
	労働災害	12	1	2	5	1	0	21
	運動競技	8	0	0	2	0	0	10
	一般負傷	166	37	20	30	22	5	280
	加害	2	0	0	0	0	0	2
	自損行為	8	0	2	2	0	0	12
	急病	612	109	74	99	106	6	1,006
	転院搬送	287	2	4	1	21	0	315
	その他	0	1	0	0	0	0	1
	合計	1,158	153	106	151	153	11	1,732

新見地区が出場件数の66.9%（1,158件）を占めており、次いで多いのが大佐地区で8.9%（153件）となっています。

4. 署所別出場件数及び搬送人員

(単位：件・人)

	本署	大佐分署	神郷分署	哲多分署	哲西分署	合計
出場件数	1,110	209	103	102	208	1,732
搬送人員	1,063	190	97	89	199	1,638

本署は、新見、高尾、西方、唐松、正田、上市、草間、金谷、石蟹、井倉、下熊谷、長屋、土橋、馬塚、坂本、豊永佐伏、豊永宇山、菅生の一部、上熊谷の一部、法曾の一部、豊永赤馬の一部、哲多町宮河内、哲多町本郷・花木・大野の一部に出場します。

大佐分署は、大井野、上刑部、小阪部、永富、小南、布瀬、田治部、菅生の一部、上熊谷の一部、豊永赤馬の一部に出場します。

神郷分署は、高瀬、釜村、油野、足立、千屋（花見・井原・千屋実・千屋）に出場します。

哲多分署は、成松、老栄、矢戸、荻尾、本郷、花木、蚊家、法曾の一部に出場します。

哲西分署は、大竹、大野部、八鳥、畑木、矢田、上神代、神郷下神代、哲多町田淵、哲多町蚊家・大野の一部に出場します。

本署からの出場が64.1%（1,110件）、大佐分署からの出場が12.1%（209件）、神郷分署からの出場が5.9%（103件）、哲多分署からの出場が5.9%（102件）、哲西分署からの出場が12%（208件）となっています。

5. 行政区別出場件数

(単位：件)

行政区	救急事故種別												出場件数
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
新見市足立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
新見市井倉	0	0	0	4	0	0	3	0	0	12	0	0	19
新見市石蟹	0	0	0	0	0	3	6	0	0	21	1	0	31
新見市金谷	0	0	0	0	1	0	6	0	0	24	0	0	31
新見市上市	0	0	0	3	0	0	1	0	0	15	0	0	19
新見市上熊谷	0	0	0	5	0	1	9	0	0	29	0	0	44
新見市唐松	1	0	0	2	2	0	8	0	0	53	0	0	66
新見市草間	0	0	0	5	0	0	8	0	0	30	0	0	43
新見市坂本	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
新見市下熊谷	1	0	0	3	2	0	3	0	0	10	0	0	19
新見市正田	0	0	0	3	3	0	9	0	2	33	1	0	51
新見市菅生	0	0	0	1	0	0	4	0	0	12	0	0	17
新見市高尾	0	0	0	8	0	1	32	1	1	97	158	0	298
新見市足見	0	0	0	0	1	0	3	0	0	9	0	0	13
新見市千屋	0	0	0	2	0	2	6	0	0	10	0	0	20
新見市千屋井原	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	4
新見市千屋実	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	14
新見市千屋花見	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	0	0	8
新見市土橋	1	0	0	2	0	0	3	0	0	13	0	0	19
新見市豊永赤馬	0	0	0	2	0	0	1	0	1	6	0	0	10
新見市豊永宇山	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	0	7
新見市豊永佐伏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9
新見市長屋	0	0	0	5	0	0	4	0	0	9	0	0	18
新見市新見	1	0	0	7	0	0	26	1	0	125	53	0	213
新見市西方	0	0	0	5	3	1	16	0	2	57	74	0	158
新見市法曾	0	0	0	2	0	0	1	0	0	5	0	0	8
新見市馬塚	0	0	0	0	0	0	5	0	0	11	0	0	16
新見市大佐大井野	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	6

区分 行政区	救急事故種別												出場件数
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
新見市大佐小阪部	0	0	0	0	1	0	10	0	0	33	1	0	45
新見市大佐上刑部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	4
新見市大佐小南	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
新見市大佐田治部	0	0	0	1	0	0	11	0	0	48	0	0	60
新見市大佐永富	0	0	0	1	0	0	9	0	0	13	1	0	24
新見市大佐布瀬	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5	0	1	8
新見市神郷釜村	0	0	0	1	1	0	3	0	0	14	2	0	21
新見市神郷下神代	0	0	0	1	0	0	14	0	2	34	2	0	53
新見市神郷高瀬	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0	8
新見市神郷油野	0	0	0	1	1	0	2	0	0	20	0	0	24
新見市哲西町大竹	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0	0	10
新見市哲西町大野部	0	0	0	1	0	0	3	0	0	10	0	0	14
新見市哲西町上神代	1	0	0	0	0	0	6	0	0	19	0	0	26
新見市哲西町畑木	1	0	0	0	0	0	1	0	0	12	0	0	14
新見市哲西町八鳥	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10	0	0	12
新見市哲西町矢田	0	0	0	0	1	0	9	0	0	47	21	0	78
新見市哲多町老栄	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	6
新見市哲多町大野	0	0	0	2	2	0	3	0	0	5	0	0	12
新見市哲多町荻尾	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5	0	0	8
新見市哲多町蚊家	0	0	0	1	0	0	3	0	0	14	0	0	18
新見市哲多町田淵	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0	8
新見市哲多町成松	0	0	0	2	0	0	6	0	1	10	0	0	19
新見市哲多町花木	1	0	0	1	1	2	6	0	0	9	0	0	20
新見市哲多町本郷	0	0	0	1	1	0	3	0	0	29	1	0	35
新見市哲多町宮河内	0	0	0	2	0	0	3	0	1	5	0	0	11
新見市哲多町矢戸	0	0	0	1	1	0	0	0	0	11	0	0	13
真庭市（応援協定地区）	0	0	0	0	0	0	5	0	0	6	0	0	11
合計	9	0	0	76	21	10	280	2	12	1,006	315	1	1,732

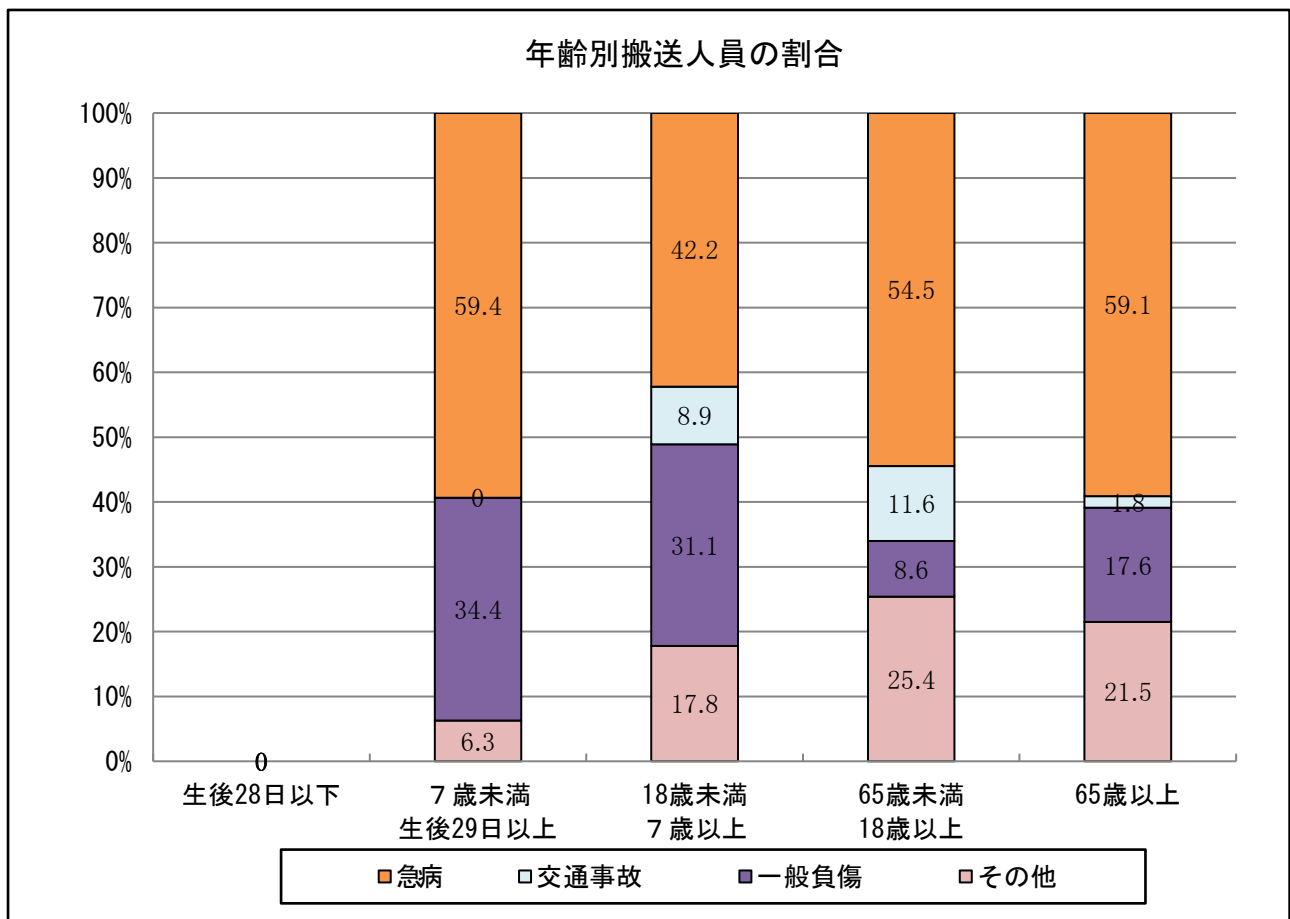
最も多い行政区は新見市高尾で298件（17.2%）、次いで順に、新見市新見213件（12.3%）、新見市西
方158件（9.1%）、哲西町矢田78件（4.5%）、新見市唐松66件（3.8%）が多くなっている。

6. 年齢別搬送人員

(単位：人)

	生後28日以下	生後29日以上 7歳未満	7歳以上 18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
急病	0	19	19	165	743	946
交通事故	0	0	4	35	23	62
一般負傷	0	11	14	26	222	273
その他	0	2	8	77	270	357
合計	0	32	45	303	1,258	1,638

(単位：%)



※ 「その他」の内訳

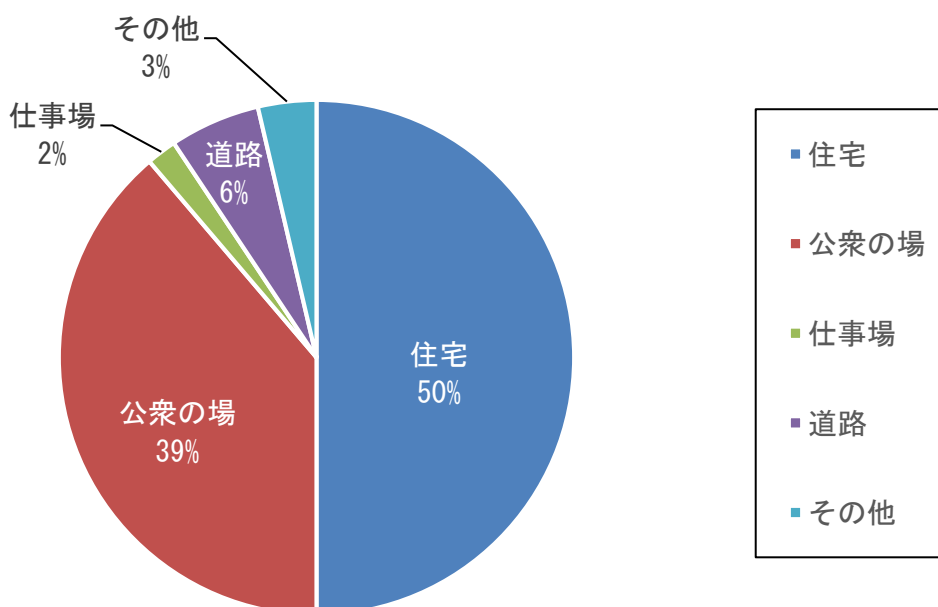
「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」「転院搬送」「その他」

搬送人員のうち65歳以上の占める割合は76.8% (1,258人) となっており、搬送された65歳以上の急病割合は59.1% (743人) となっています。

7. 事故発生場所区分別搬送人員

(単位：人)

	住 宅	公 衆 の 場	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	652	248	11	8	27	946
交 通 事 故	0	3	0	56	3	62
一 般 負 傷	158	56	3	27	29	273
そ の 他	9	328	17	2	1	357
合 計	819	635	31	93	60	1,638

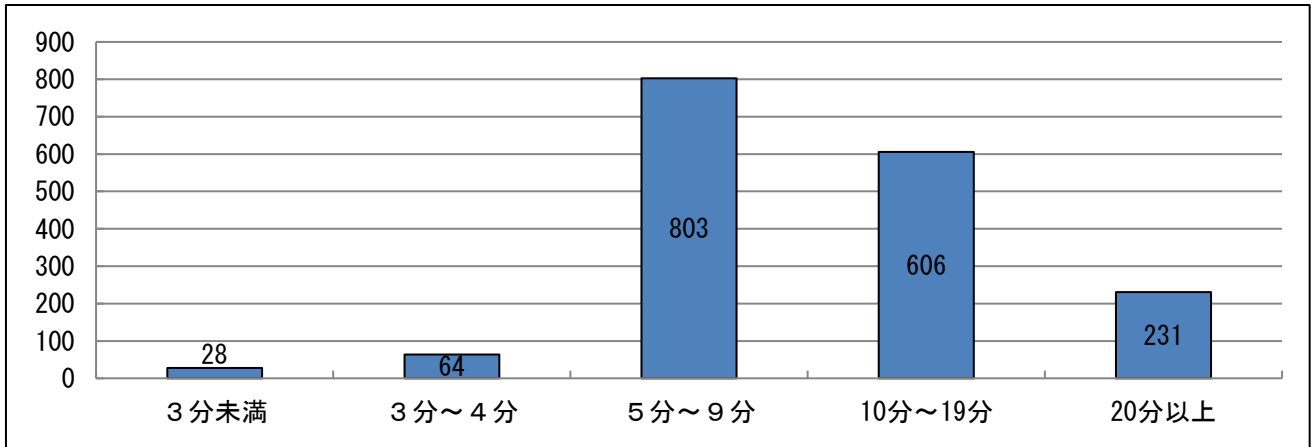


事故発生場所で最も多いのは住宅で、搬送人員の50%（819人）を占めています。住宅内で最も多い箇所は、居間や寝室を含む居室（590人）、次いで廊下（76人）、庭（50人）、台所（36人）の順となっています。

次に多いのが公衆の場で33.7%（人）となっており、この中には転院搬送が含まれています。内訳として最も多い場所は、病院・診療所（316人）、次いで老人福祉施設等（199人）、マーケット・店舗等（21人）、小・中・高・大学（17人）となっています。

8. 現場到着所要時間別出場件数

(単位：件)

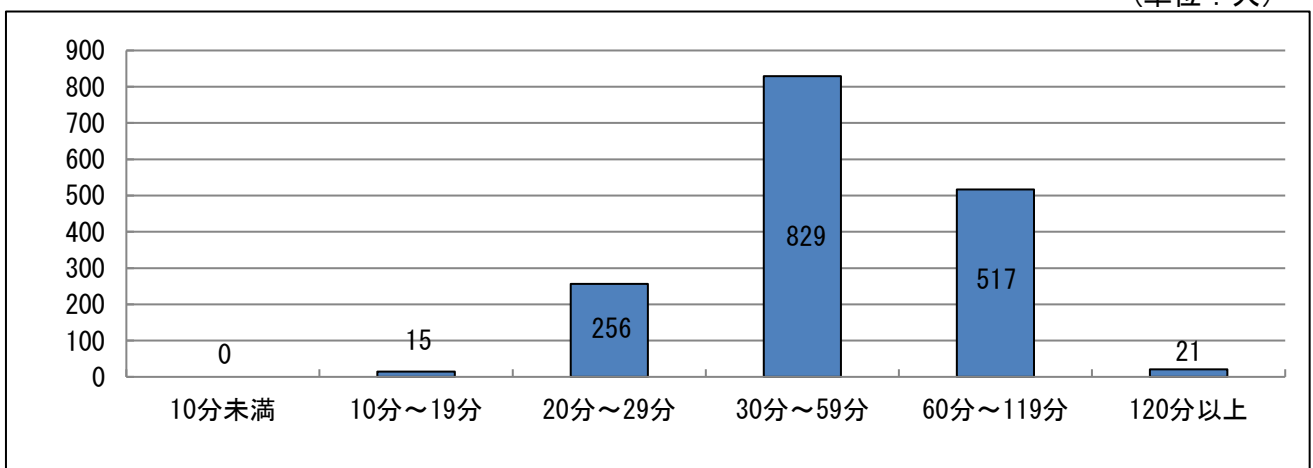


	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
3分未満	19	0	4	5	28
3分～4分	27	2	10	25	64
5分～9分	424	16	107	256	803
10分～19分	403	37	108	58	606
20分以上	133	21	51	26	231
合計	1,006	76	280	370	1,732

119番通報から現場に到着するまでに要した時間別出場件数を割合で見ると、51.7% (895件) は10分未満に到着していますが、13.3% (231件) は20分以上の時間を要しました。時間を要した理由は、現場が遠い又は管轄署所外への応援出場等が考えられます。

9. 医療機関等への収容時間別搬送人員

(単位：人)

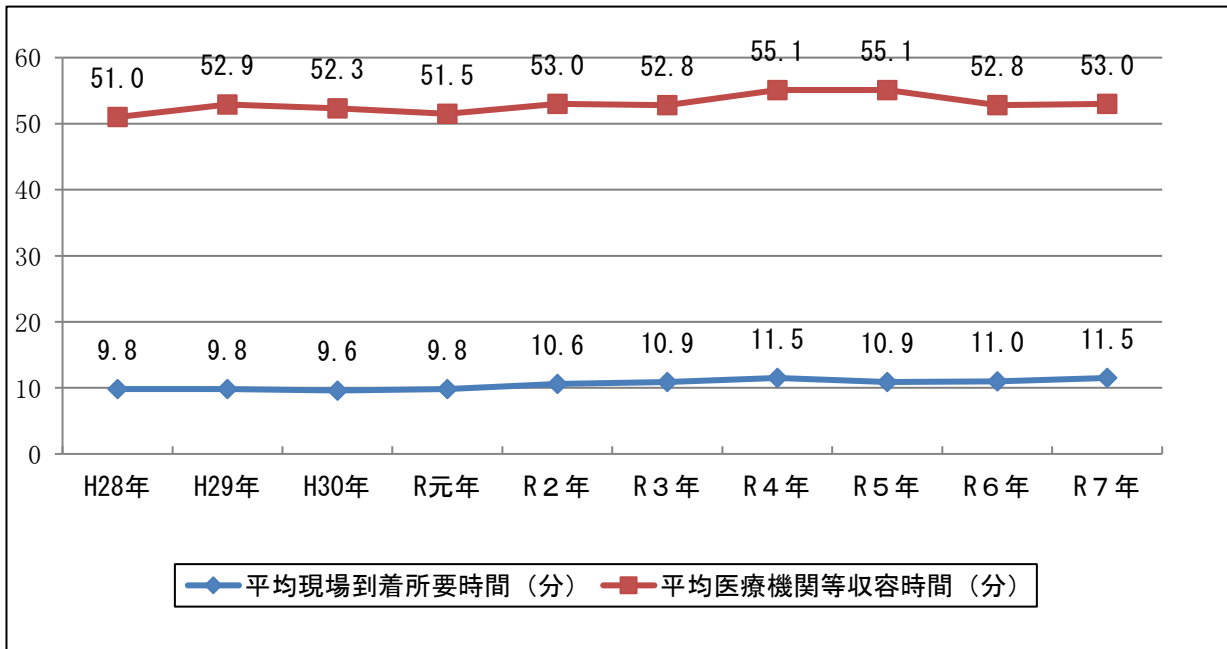


	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
10分未満	0	0	0	0	0
10分～19分	10	0	2	3	15
20分～29分	166	7	47	36	256
30分～59分	576	38	153	62	829
60分～119分	179	16	66	256	517
120分以上	15	1	5	0	21
合計	946	62	273	357	1,638

119番通報から医療機関へ収容するまでに要した時間別搬送人員を割合で見ると、67.2% (1,100人) は1時間未満に収容できましたが、32.8% (538人) は1時間以上の時間がかかっています。1時間以上要した理由は、現場から医療機関までの距離が長いこと、管轄外への転院搬送、受入先医療機関が決定するまでに時間を要したこと等が考えられます。

10. 現場到着所要時間、医療機関等收容時間の推移状況

(単位：分)

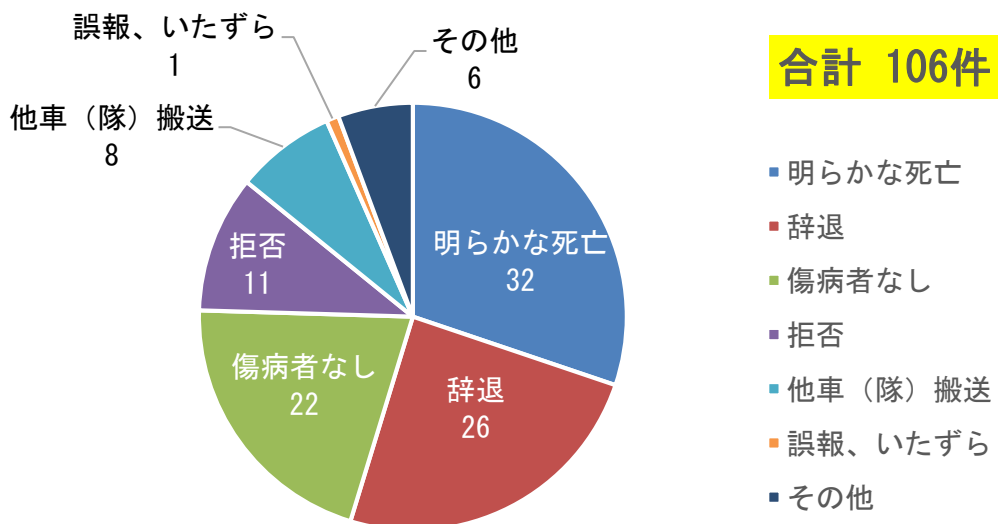


現場到着所要時間と医療機関等への收容時間の平均を表しています。
 近年現場到着所要時間はさほど変化はなく横ばいですが、医療機関等收容時間は10年前と比べると2分延伸しています。

医療機関等收容時間が延伸している原因は、救急隊の処置の高度化、收容医療機関への照会数増加、遠方の医療機関への搬送や転院搬送等が考えられます。

11. 不搬送件数（理由別内訳）

(単位：件)



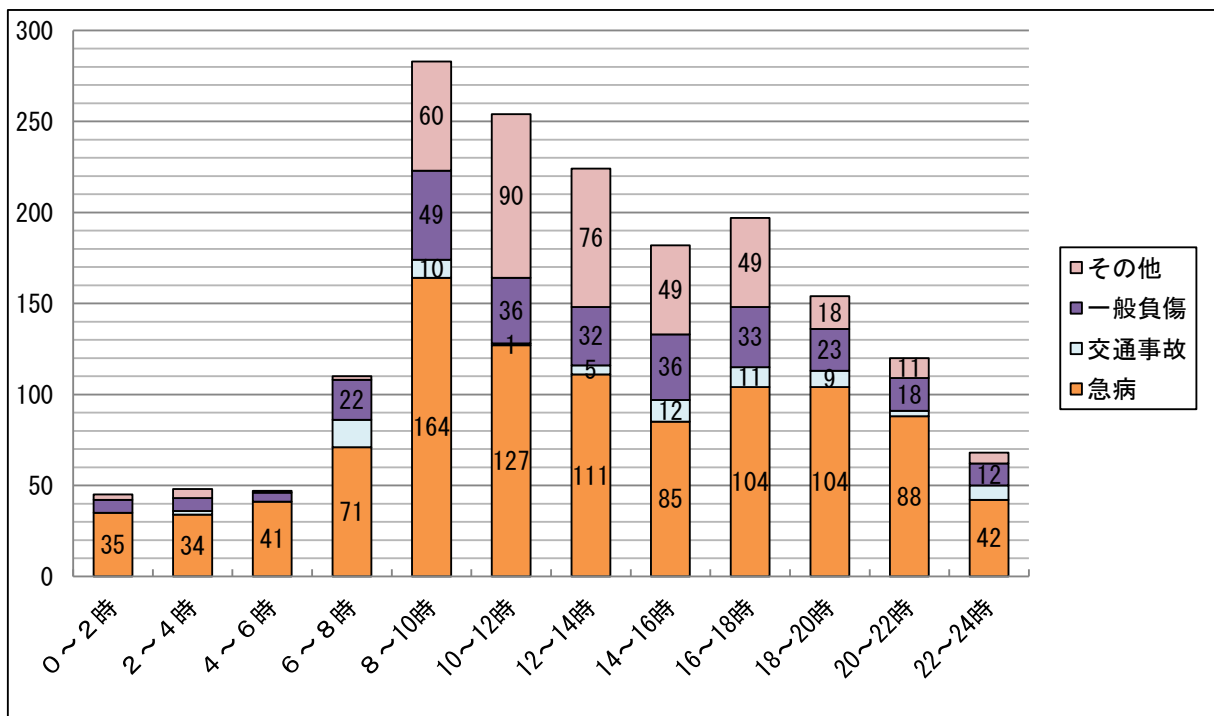
救急要請で出場したが、搬送に至らなかった事案は106件でした。

そのうち最も多い不搬送理由が「明らかな死亡」で、32件あり、次に多い理由が26件の「辞退」で、内訳は現場到着前の辞退が2件、現場到着後の辞退が24件でした。

12. 時間帯別、事故種別別出場件数

(単位：件)

時間区分	事故種別												合計
	火災	自然災害	水難	交通事故	救急労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
0～2時	0	0	0	0	0	0	7	1	0	35	2	0	45
2～4時	0	0	0	2	0	0	7	0	3	34	2	0	48
4～6時	0	0	0	0	0	0	5	0	0	41	1	0	47
6～8時	0	0	0	15	0	0	22	0	0	71	2	0	110
8～10時	0	0	0	10	5	1	49	0	2	164	52	0	283
10～12時	1	0	0	1	3	3	36	0	0	127	83	0	254
12～14時	2	0	0	5	2	3	32	0	2	111	67	0	224
14～16時	2	0	0	12	7	2	36	1	0	85	37	0	182
16～18時	3	0	0	11	4	0	33	0	2	104	39	1	197
18～20時	1	0	0	9	0	1	23	0	0	104	16	0	154
20～22時	0	0	0	3	0	0	18	0	1	88	10	0	120
22～24時	0	0	0	8	0	0	12	0	2	42	4	0	68
合計	9	0	0	76	21	10	280	2	12	1,006	315	1	1,732



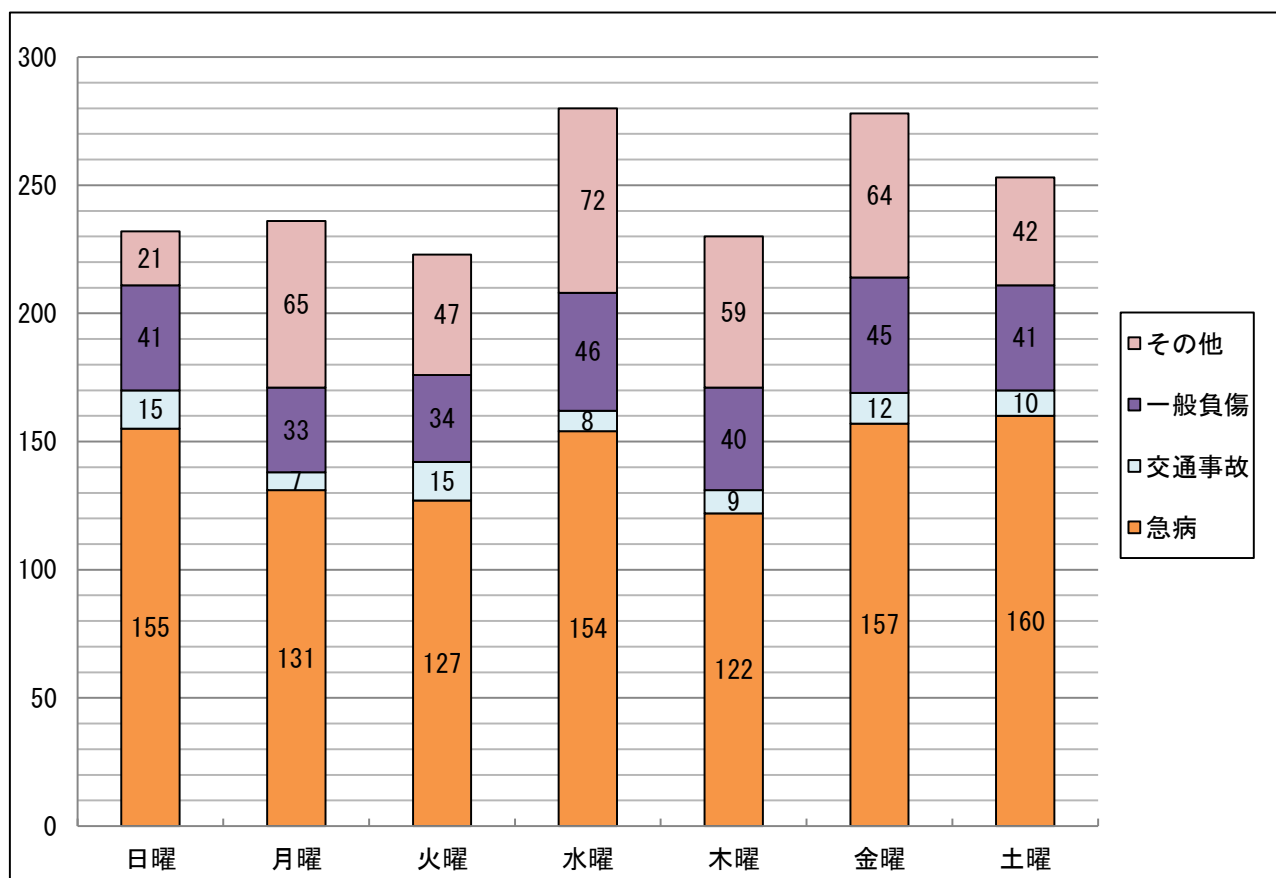
8時から18時の間は2時間当たり180件を越す出場となっています。一方、22時～6時の間は2時間当たりの出場件数が70件を下回っており、人の活動時間帯に応じて、出場件数が増加しています。

事故種別で見ると、急病は8時から20時の間に多く発生しており、人の活動時間帯との関連がみられます。交通事故については6時から18時の間の通行量が多い時間帯に救急出場が多くなっています。

13. 曜日別、事故種別別出場件数

(単位：件)

区分 曜日	救急事故種別												合計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
日曜	1	0	0	15	2	1	41	0	0	155	17	0	232
月曜	1	0	0	7	3	0	33	2	3	131	56	0	236
火曜	1	0	0	15	1	1	34	0	2	127	42	0	223
水曜	2	0	0	8	6	2	46	0	1	154	61	0	280
木曜	1	0	0	9	5	1	40	0	4	122	47	1	230
金曜	2	0	0	12	4	0	45	0	1	157	57	0	278
土曜	1	0	0	10	0	5	41	0	1	160	35	0	253
合計	9	0	0	76	21	10	280	2	12	1,006	315	1	1,732



出場件数の内、水曜日（280件）が最も多く、次いで金曜日（278件）、土曜日（253件）の順になっています。

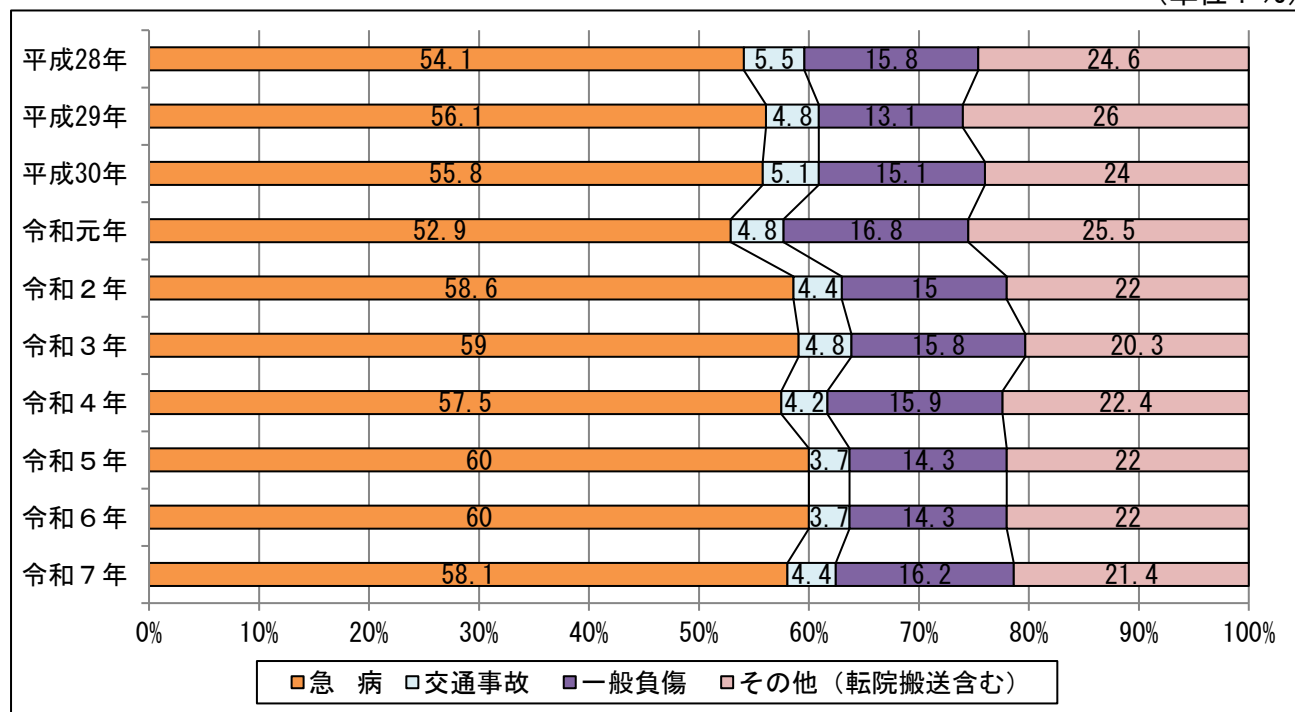
事故種別で見ると、曜日で大きな差がないことがわかります。転院搬送にあつては、土曜日と日曜日に比べ、平日に多い傾向となっています。

14. 過去10年間の事故種別別出場件数

(単位：件)

区分 年別	救急事故種別												合計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
平成28年	0	1	0	100	17	5	230	3	7	853	320	3	1,539
平成29年	2	0	0	87	14	7	248	3	6	852	355	0	1,574
平成30年	17	2	0	83	18	7	228	2	9	976	397	0	1,739
令和元年	8	0	1	85	25	5	253	2	6	932	350	4	1,671
令和2年	14	0	0	74	23	8	257	0	8	811	331	7	1,533
令和3年	15	0	0	67	13	14	229	2	7	892	281	3	1,523
令和4年	11	0	0	78	18	7	255	1	10	950	273	6	1,609
令和5年	10	0	1	71	14	12	271	2	12	980	327	4	1,704
令和6年	8	0	2	63	19	16	246	4	7	1,031	316	5	1,717
令和7年	9	0	0	76	21	10	280	2	12	1,006	315	1	1,732

(単位：%)



この10年間のデータから、救急需要は高齢化に伴う慢性疾患の増加や独居高齢者の増加などが影響を強く受けていると考えられます。

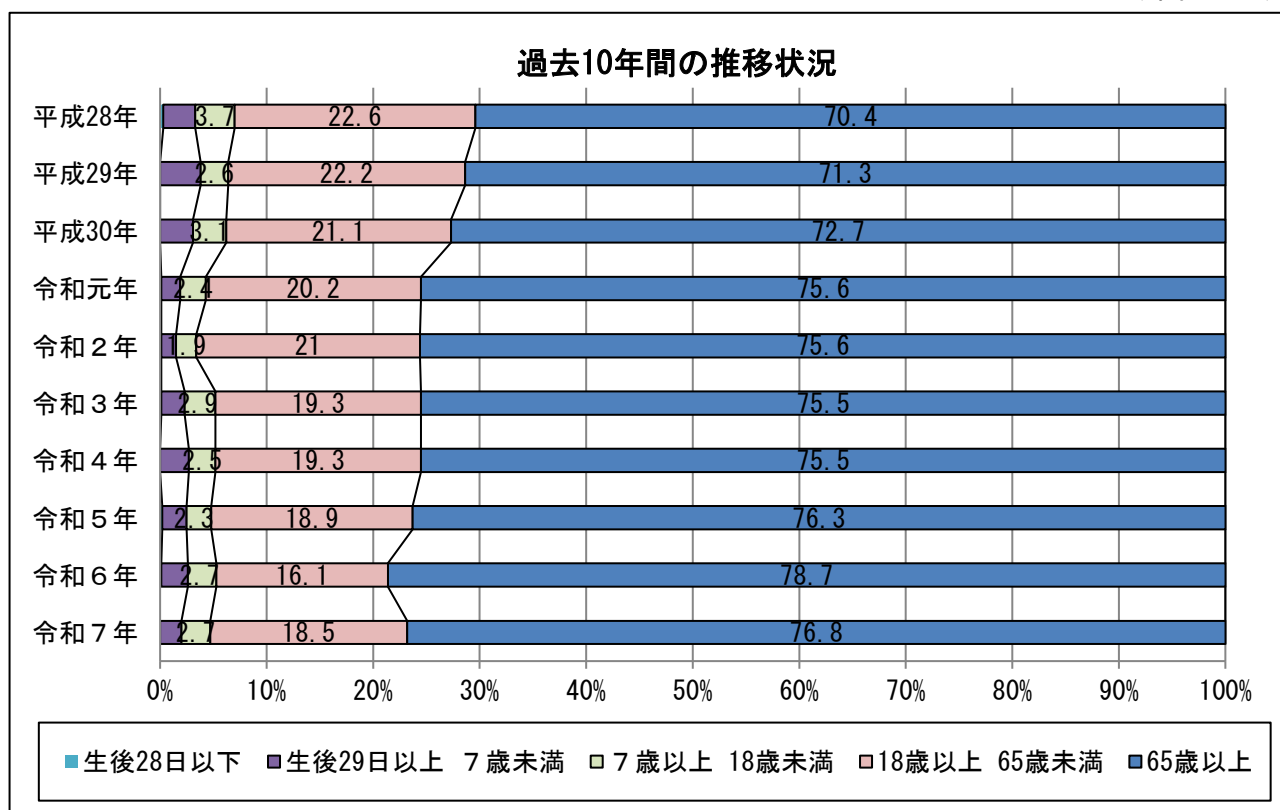
特に、急病、一般負傷、転院搬送が全体の90%を占めており、特に急病約60%を占めています。今後も増加が予想されます。一方で、交通事故は減少傾向にあります。

15. 過去10年間の年齢別搬送人員の状況

(単位：人)

	生後28日以下	生後29日以上 7歳未満	7歳以上 18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
平成28年	4	44	55	333	1,036	1,472
平成29年	0	58	40	336	1,080	1,514
平成30年	0	51	51	344	1,186	1,632
令和元年	1	29	38	320	1,200	1,588
令和2年	2	20	27	302	1,089	1,440
令和3年	1	32	42	279	1,090	1,444
令和4年	0	41	38	294	1,149	1,522
令和5年	3	37	37	304	1,224	1,605
令和6年	1	40	44	263	1,284	1,632
令和7年	0	32	45	303	1,258	1,638

(単位：%)



高齢者（65歳以上）の搬送人員は昨年と比べると26人減少、成人（18歳以上65歳未満）の搬送人員は昨年に比べると40人増加となっています。

過去10年間の年齢別搬送人員の推移をみると、昨年まで65歳以上の高齢者の割合が増加していましたが、減少に転じました。

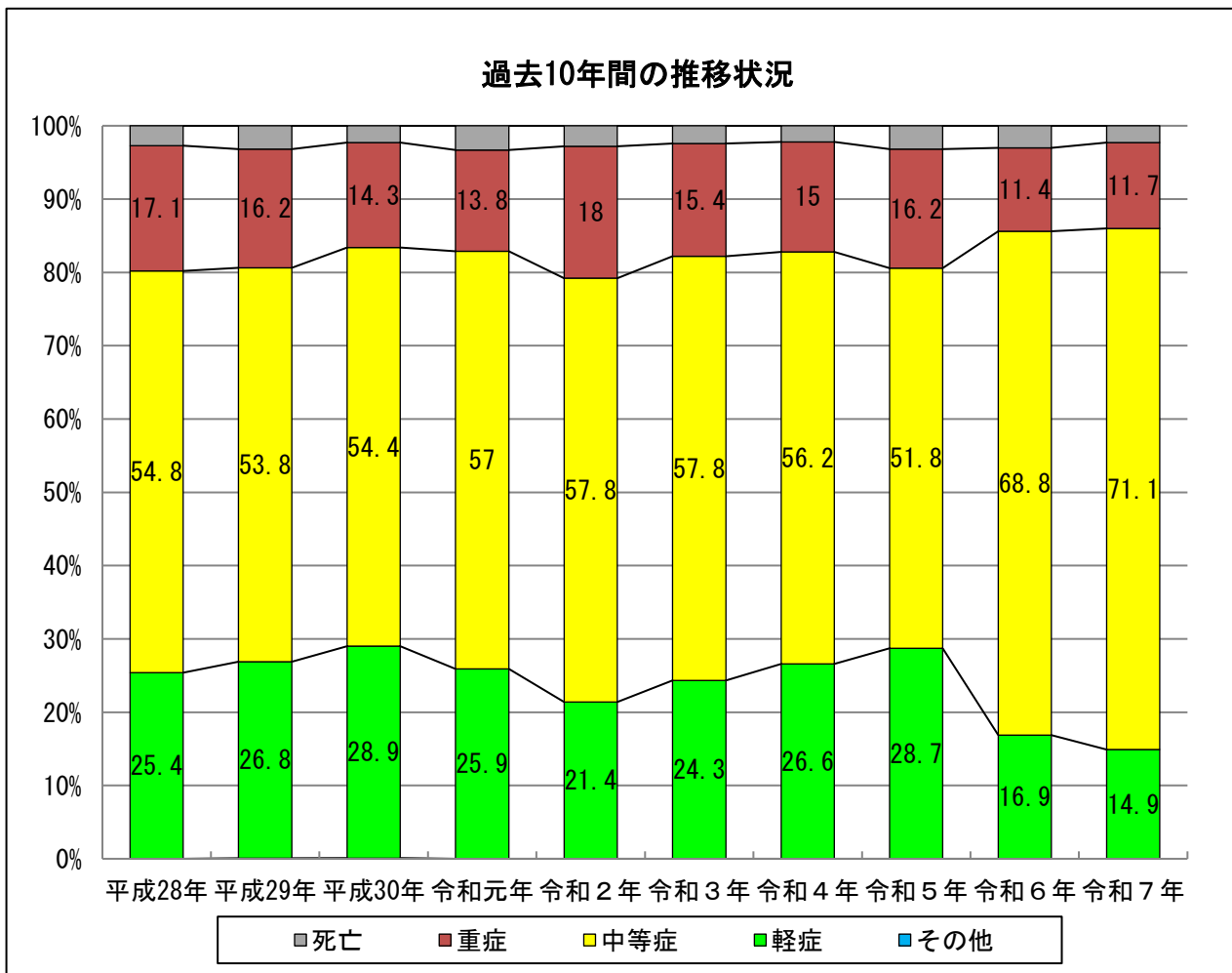
これは、予防医療・健康管理の浸透、地域包括ケアの強化、救急要請の適正化が進んだのではないかと推察します。しかし、救急を呼ばずに我慢しているケースも考えられます。

16. 過去10年間の傷病程度別搬送人員の状況

(単位：人)

程 度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
死 亡	40	48	38	53	40	35	33	52	49	37
重 症	252	245	233	219	259	223	229	260	186	191
中等症	806	814	888	905	833	835	855	832	1122	1165
軽 症	374	406	472	411	308	351	405	461	275	244
その他	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	1,472	1,514	1,632	1,588	1,440	1,444	1,522	1,605	1,632	1,638

(単位：%)



傷病程度別で見ると重症、軽症は減少、中等症は増加となっています。

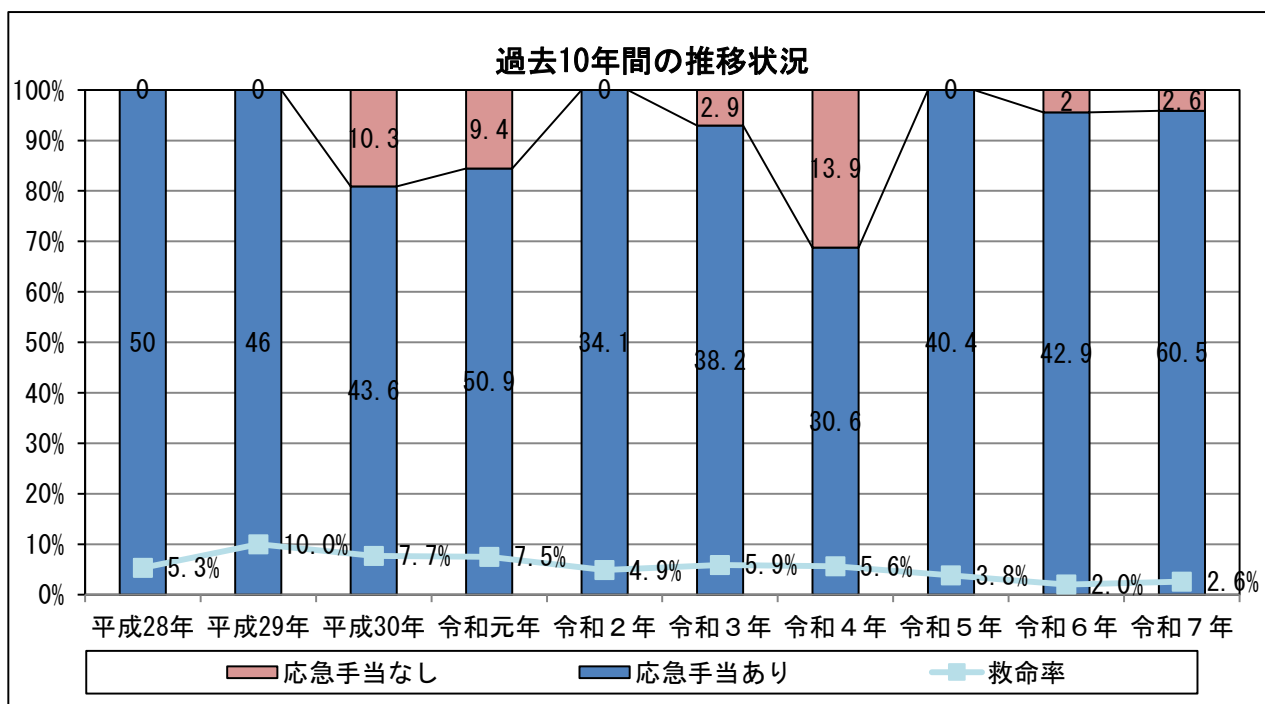
過去10年間の推移状況をみると、重症搬送は減少傾向にあり、10年前と比べると5.4%の減少、中等症は増加傾向にあり、16.3%増加、重症、軽症搬送は増減を繰り返しています。全体の割合をみると、中等症の傷病者が大半を占めています。

17. 過去10年間の心肺停止傷病者への一般市民による応急手当実施状況

(単位：人)

	心肺停止傷病者 搬送者数	1ヶ月後の 生存者数	一般市民による		一般市民による 応急手当なし
			応急手当あり	内AED使用	
平成28年	38	2	19	0	0
平成29年	50	5	23	0	0
平成30年	39	3	17	0	4
令和元年	53	4	27	0	5
令和2年	41	2	14	0	0
令和3年	34	2	13	4	1
令和4年	36	2	11	3	5
令和5年	52	2	21	14	0
令和6年	49	1	21	13	1
令和7年	38	1	23	15	1

(単位：%)



応急手当ありとは心肺停止傷病者に対して一般市民が心肺蘇生法を行ったもので、内AED使用とは、電気ショックの有無にかかわらず、一般市民がAEDを使用していたものです。

救命率とは心肺停止傷病者搬送者数に対する1ヶ月後の生存者数の割合です。

昨年と比べると、心肺停止傷病者搬送者数は1人増加しています。

一般市民による応急手当は昨年の42.9%より増加し60.5%となりました。

AEDの使用については15件となっています。

応急手当講習会参加人数は年間約1,404人とコロナ禍に比べ大幅に増加しており、10年前と比べても増加傾向にあります。近年、応急手当の実施率の伸び悩みがあるため、さらなる応急手当講習会の普及に努め、救命率増加を目指す必要があります。

救 助

年別救助活動状況

(単位:件、人)

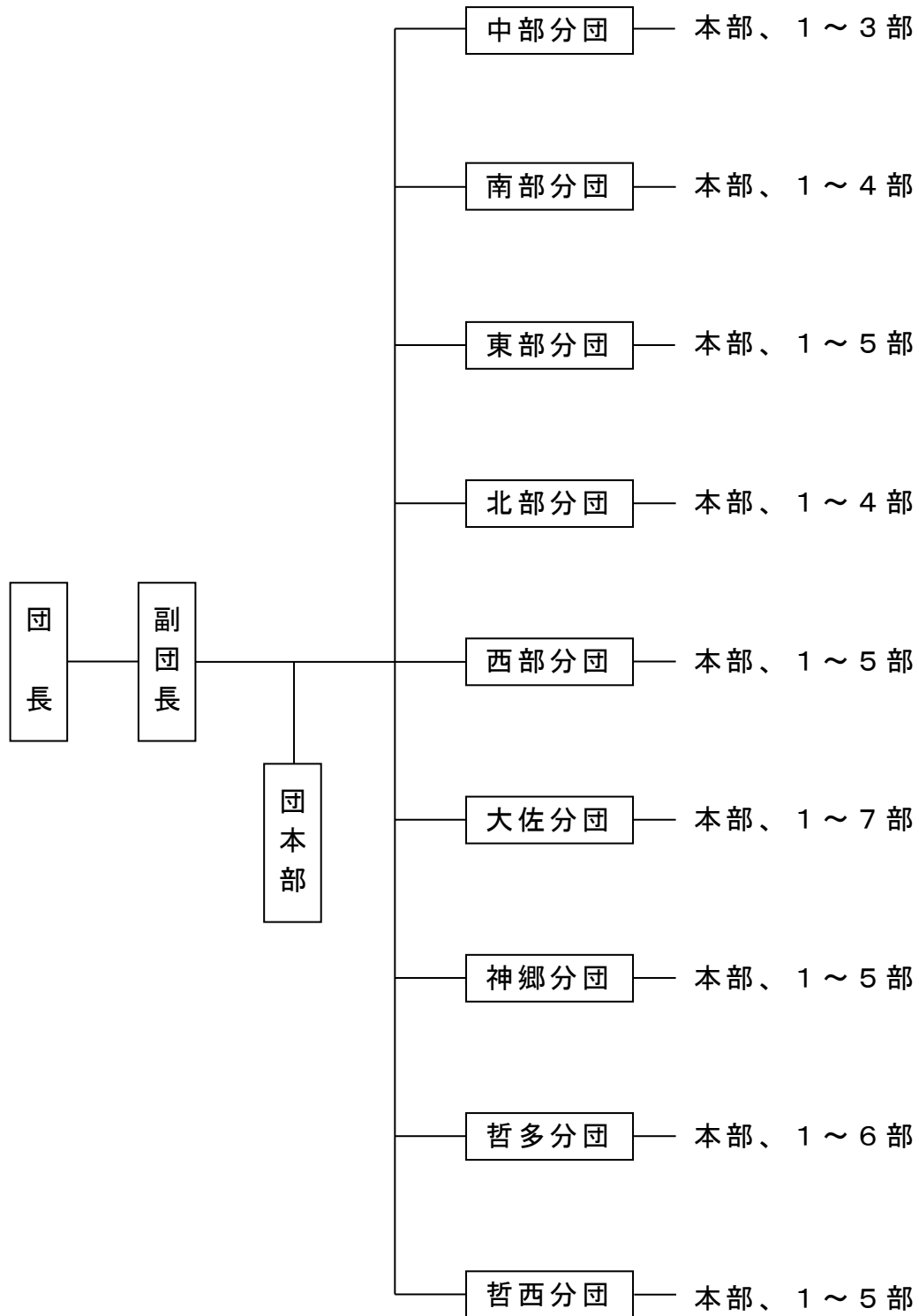
年 別	事故種別	総 数	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害
			建 物	建物以外			
令和 3年	出動件数	13	0	0	10	0	0
	活動件数	7	0	0	5	0	0
	救助人員	7	0	0	5	0	0
4年	出動件数	20	0	0	15	0	0
	活動件数	11	0	0	6	0	0
	救助人員	11	0	0	7	0	0
5年	出動件数	27	0	1	21	2	0
	活動件数	14	0	1	9	2	0
	救助人員	15	0	1	10	2	0
6年	出動件数	33	0	0	14	1	0
	活動件数	20	0	0	7	1	0
	救助人員	20	0	0	7	1	0
7年	出動件数	31	0	0	19	1	0
	活動件数	18	0	0	9	1	0
	救助人員	20	0	0	11	1	0

年 別	事故種別	機械による 事 故	建物等による 事 故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故
令和 3年	出動件数	0	0	0	0	3
	活動件数	0	0	0	0	2
	救助人員	0	0	0	0	2
4年	出動件数	0	0	0	0	5
	活動件数	0	0	0	0	5
	救助人員	0	0	0	0	4
5年	出動件数	1	0	0	0	2
	活動件数	1	0	0	0	1
	救助人員	1	0	0	0	1
6年	出動件数	3	0	0	0	15
	活動件数	0	0	0	0	12
	救助人員	0	0	0	0	12
7年	出動件数	0	0	0	0	11
	活動件数	0	0	0	0	8
	救助人員	0	0	0	0	8

消 防 団

消 防 団 関 係

1 消防団組織図



2 各消防団組織・団員数・消防ポンプ車等現有数・消防水利の現況

(令和8年4月1日現在)

消 防 団 数		1	
消 防 分 団 数		9	
団 員 数	定 員 (人)	1,000	
	実 員 (人)	852 (機能別団員含む)	
普通消防ポンプ 自 動 車 (台)		5	
小型動力ポンプ付 積 載 車 (台)		63	
小 型 動 力 ポ ン プ (台)		8	
消 防 水 利	消 火 栓 (公 設) (基)		2,417
	防 火 水 槽	40 m ³ 以上(基)	181
		20 m ³ ~ 39 m ³ (基)	68
	そ の 他 の 水 利		105

3 消防団の人員状況

(令和8年4月1日現在)(単位:人)

階級等	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長 (副部長)	班長	団員
団員数	852 (57)	1	3	18	59	88	173 (3)	510 (54)

※条例定数は1,000人

機能別団員含む、()内は女性団員

4 消防団報酬

(1) 年報酬

(単位:円)

階級	報酬額
団長	129,000
副団長	79,000
分団長	69,000
副分団長	48,000
部長	40,000
班長	37,000
団員	36,500

※機能別団員は12,000円

(2) 出動報酬と費用弁償

① 出動報酬

(単位:円)

種別	出動報酬(日)	備考
災害	8,000	7時間45分未満は、 1,000円/時間
訓練・警戒	2,000	

② 費用弁償

(単位:円)

種別	費用弁償(日)
災害	1,000
訓練・警戒	1,000
その他(会議等)	1,000

5 消防団員の構成

(1) 消防団員の年齢別構成 (単位：人)

年 齢 区 分	構 成 人 数
団 員 数	852 (57)
20 歳 未 満	3 (3)
20 歳 ~ 23 歳	17 (10)
24 歳 ~ 27 歳	27 (3)
28 歳 ~ 31 歳	47 (3)
32 歳 ~ 35 歳	67 (3)
36 歳 ~ 39 歳	89 (3)
40 歳 ~ 43 歳	107 (4)
44 歳 ~ 47 歳	92 (4)
48 歳 ~ 51 歳	115 (4)
52 歳 以 上	288 (20)

機能別団員含む、() 内は女性団員

(2) 消防団員の在職年数別構成 (単位：人)

在 職 年 数	構 成 人 数
計	852 (57)
5 年 未 満	115 (29)
5 年 ~ 10 年	116 (5)
10 年 ~ 15 年	142 (11)
15 年 ~ 20 年	137 (9)
20 年 ~ 25 年	109 (2)
25 年 ~ 30 年	105 (0)
30 年 以 上	128 (1)

機能別団員含む、() 内は女性団員